

全国民生委員児童委員連合会 民生委員制度創設 100 周年記念全国モニター調査  
調査 2 「民生委員・児童委員の活動および意識に関する調査」報告書（北海道抽出版）

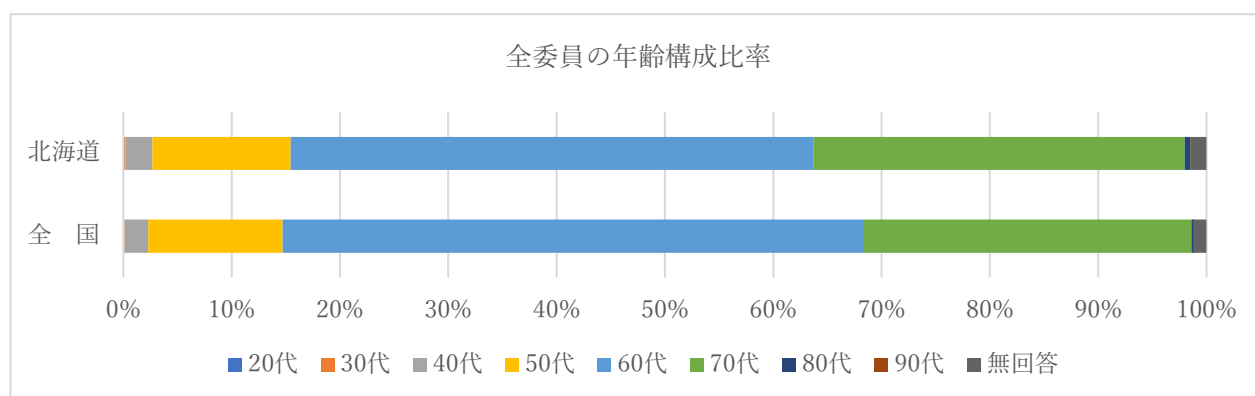
○回答委員数

	区域担当 (民生)委員	主任児童委員	区分不明委員	合 計
北海道	6,384	726	426	7,536
	84.7%	9.6%	5.7%	100.0%
全 国	170,683	19,477	10,590	200,750
	85.0%	9.7%	5.3%	100.0%

※北海道の委員定数(9,988)に対する回答率は75.5%

1-1 委員の年齢【全委員】※担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む

	年齢階層別人数									合 計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答	
北海道	2	14	186	962	3,638	2,583	37	0	114	7,536
	0.0%	0.2%	2.5%	12.8%	48.3%	34.3%	0.5%	0.0%	1.5%	100.0%
全 国	23	203	4,420	24,910	107,519	60,887	401	5	2,382	200,750
	0.0%	0.1%	2.2%	12.4%	53.6%	30.3%	0.2%	0.0%	1.2%	100.0%



全国と比較して、70代の委員の比率が4.0ポイント高い。

⇒道社会福祉審議会民生委員審査専門分科会において、事実上の年齢制限の撤廃が影響している可能性が高い。

【参考】道社会福祉審議会民生委員審査専門分科会審査方針（一部抜粋）

4 審査基準

(1) 特別要件

次の要件を満たさない者については、民生委員児童委員として選任しないこととする。

なお、この場合、市町村民生委員推薦会に対し、適格者の再推薦を求めるものとする。

① 年齢制限について

ア 地区を担当する民生委員児童委員

・新任の場合は、基準を設けない。

・再任の場合は、できる限り75歳未満とする。

ただし、健康状態、過去の活動状況等十分に勘案し、今後の活動に支障がないと認められる者とする。

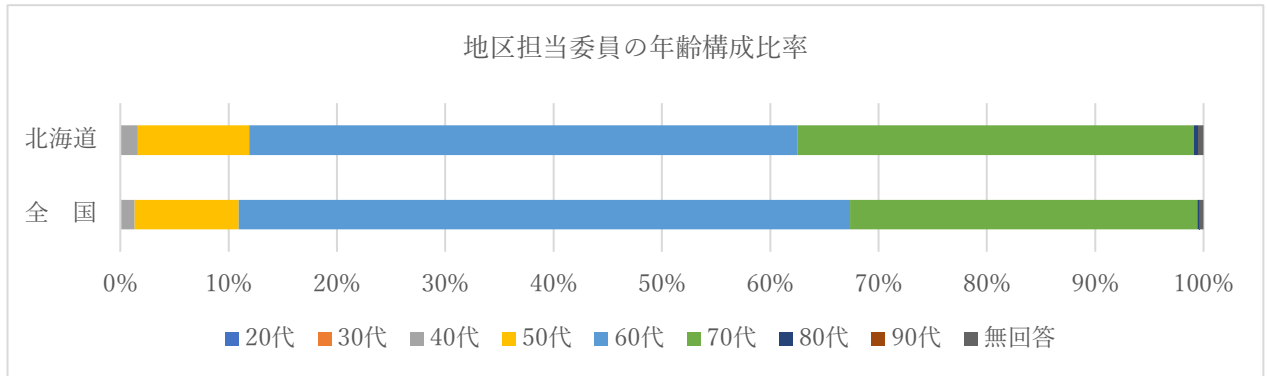
イ 主任児童委員

主任児童委員は、新任・再任問わず、原則55歳未満の者とする。

ただし、地域の事情により55歳未満の者の選任がどうしても困難な場合で、事情やむを得ないと判断できる場合は、例外的に55歳以上の者も認める。その場合であっても、現に地域で児童福祉活動に携わるなど、今後の活動が十分に期待される原則65歳未満の者とする。

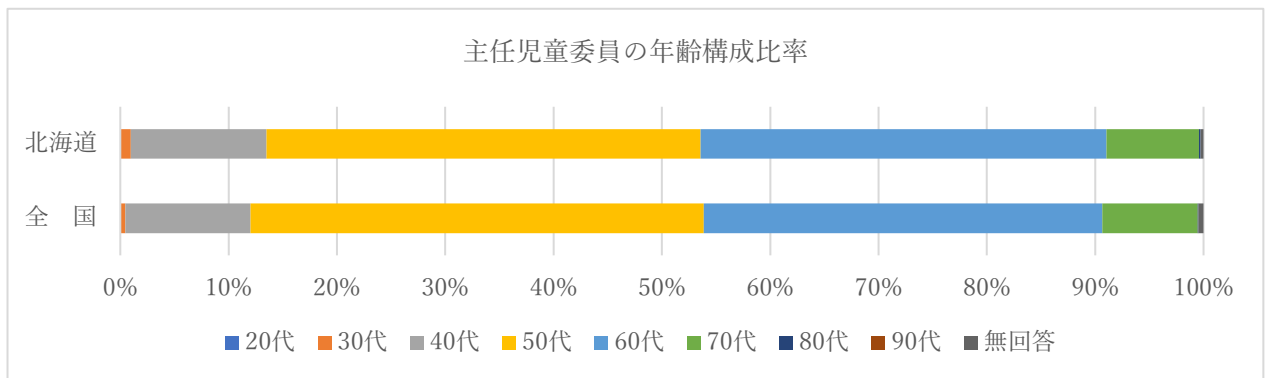
1-1 委員の年齢【区域担当委員】

	年齢階層別人数									合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答	
北海道	2	7	95	657	3,230	2,335	25	0	33	6,384
	0.0%	0.1%	1.5%	10.3%	50.6%	36.6%	0.4%	0.0%	0.5%	100.0%
全国	21	113	2,140	16,383	96,331	54,734	319	4	638	170,683
	0.0%	0.1%	1.3%	9.6%	56.4%	32.1%	0.2%	0.0%	0.4%	100.0%



1-1 委員の年齢【主任児童委員】

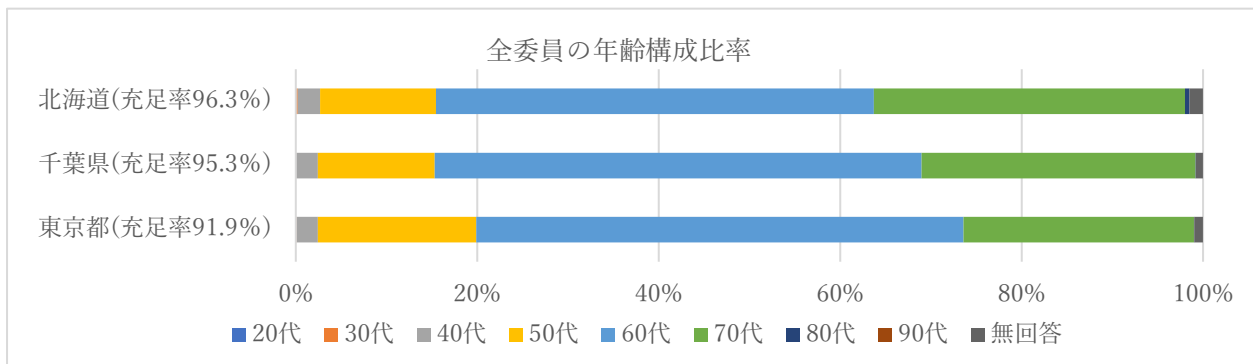
	年齢階層別人数									合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答	
北海道	0	7	91	291	272	62	1	-	2	726
	0.0%	1.0%	12.5%	40.1%	37.5%	8.5%	0.1%	-	0.3%	100.0%
全国	1	90	2,248	8,153	7,165	1,715	14	-	91	19,477
	0.0%	0.5%	11.5%	41.9%	36.8%	8.8%	0.1%	-	0.5%	100.0%



主任児童委員は全国の年齢階層構成と近似値であるが、区域担当委員の年齢階層構成を比較すると、全国と比較し70歳以上の委員比率は4.7ポイント高い数値を示している。

【参考】

○厳格に年齢制限を設けている都道府県の年齢構成との比較



※充足率は平成28年12月1日一斉改選時

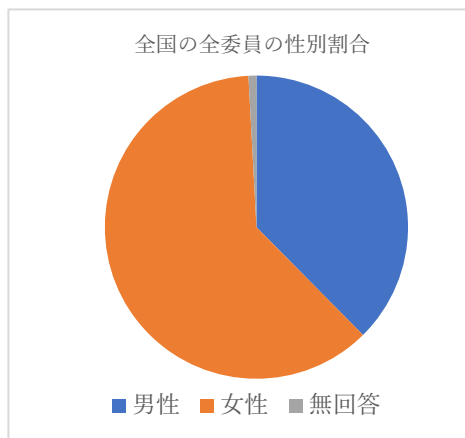
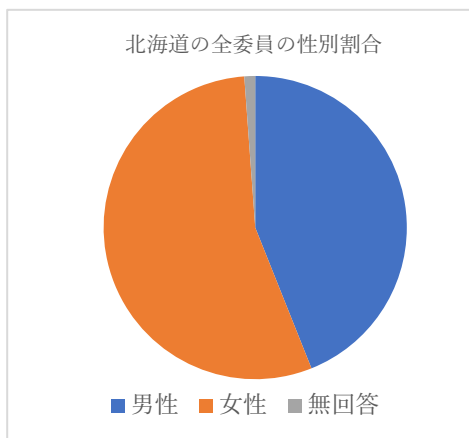
	区域担当委員	主任児童委員
北海道	新任 基準を設けない 再任 できるかぎり 75歳未満	新任・再任とも 原則 55歳未満。 ※困難な場合は 65歳未満
千葉県	75歳未満。 一般方針(留意)として 新任は 72歳未満	55歳未満
東京都	新任 原則 67歳未満 必要な場合は 70歳未満 再任 73歳未満 任期中に職責を果たせる者	新任 原則 55歳未満 必要な場合は 62歳未満 再任 原則 55歳未満 必要な場合は 65歳未満

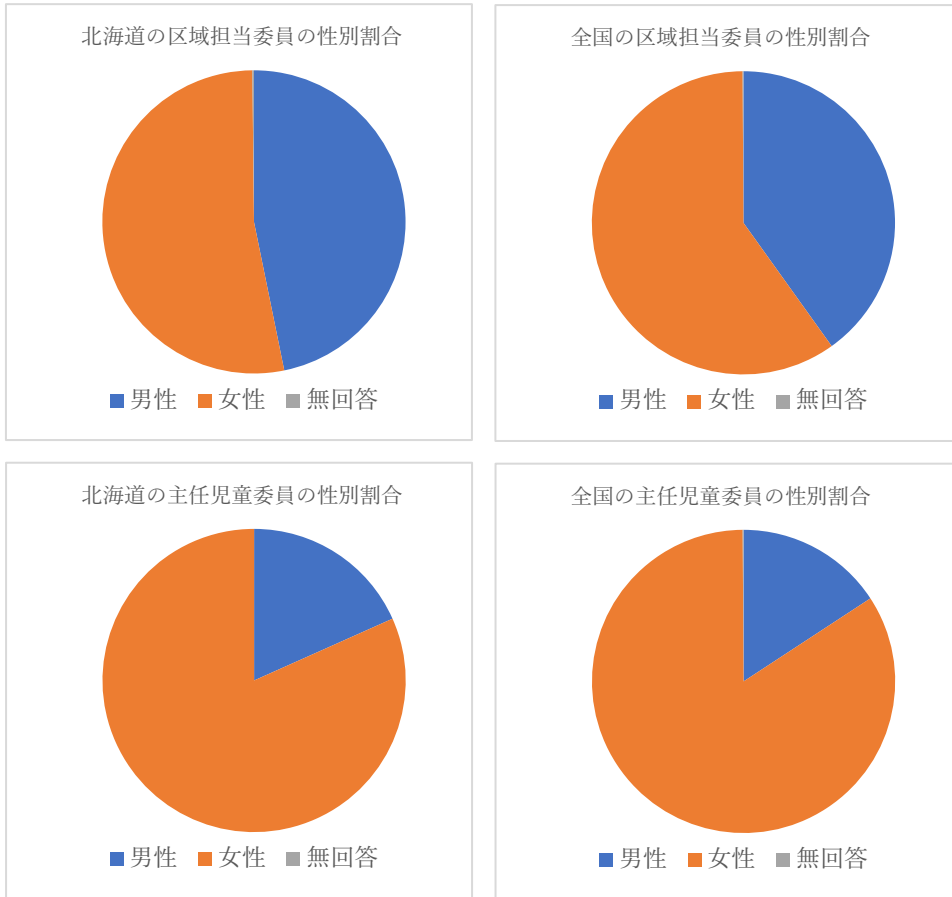
比較した都道府県が大都市である要素を無視できないが、厳格な年齢制限を設けた場合、70代以上の委員比率は低くなるも、委員の充足率も低くなると考えられる。

1-2 委員の性別

	全委員			区域担当委員			主任児童委員		
	男性	女性	無回答	男性	女性	無回答	男性	女性	無回答
北海道	3,312	4,137	87	2,992	3,391	11	133	593	0
	43.9%	54.9%	1.2%	46.9%	43.0%	0.2%	18.3%	81.7%	0.0%
全国	75,470	123,588	1,692	68,463	102,069	151	3,073	16,385	19
	37.6%	61.6%	0.8%	40.1%	59.8%	0.1%	15.8%	84.1%	0.1%

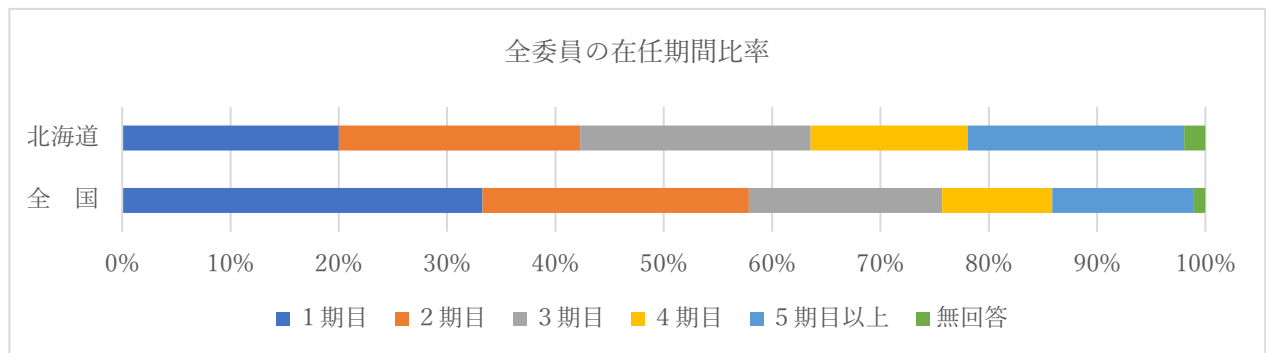
※全委員の数値は、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む





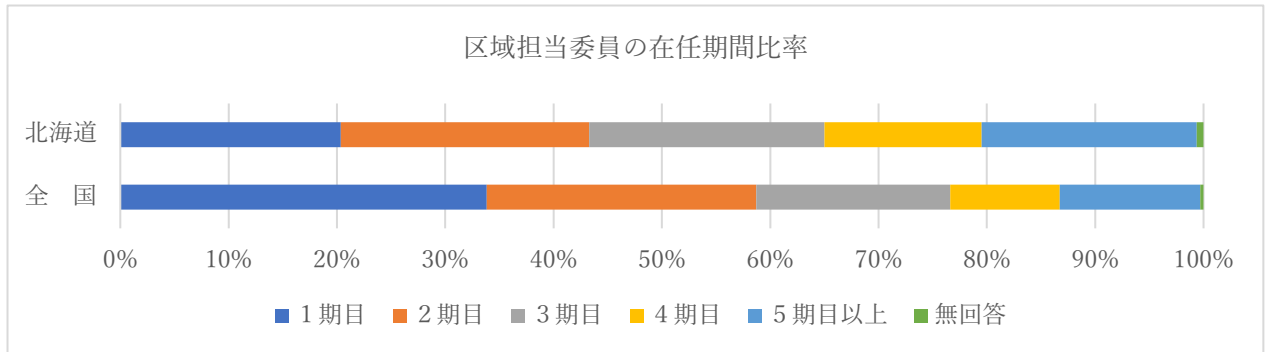
1-3 在任期間【全委員】 ※担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む

	民生委員・児童委員としての在任期間						合 計
	1 期目	2 期目	3 期目	4 期目	5 期目以上	無回答	
北海道	1,506	1,681	1,602	1,095	1,504	148	7,536
	20.0%	22.3%	21.3%	14.5%	20.0%	2.0%	100.0%
全 国	66,793	49,357	35,790	20,446	26,076	2,288	200,750
	33.3%	24.6%	17.8%	10.2%	13.0%	1.1%	100.0%



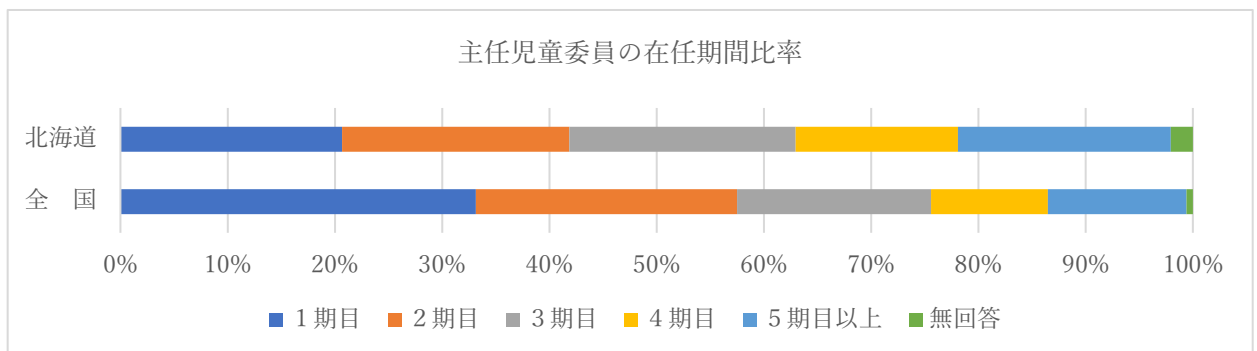
1-3 在任期間【区域担当委員】

	民生委員・児童委員としての在任期間						合 計
	1 期目	2 期目	3 期目	4 期目	5 期目	無回答	
北海道	1,299	1,464	1,387	926	1,268	40	6,384
	20.3%	22.9%	21.7%	14.5%	19.9%	0.6%	100.0%
全 国	57,748	42,470	30,554	17,273	22,119	519	170,683
	33.8%	24.9%	17.9%	10.1%	13.0%	0.3%	100.0%



1-3 在任期間【主任児童委員】

	民生委員・児童委員としての在任期間						合 計
	1 期目	2 期目	3 期目	4 期目	5 期目	無回答	
北海道	150	154	153	110	144	15	726
	20.7%	21.2%	21.1%	15.2%	19.8%	2.1%	100.0%
全 国	6,456	4,741	3,528	2,119	2,520	113	19,477
	33.1%	24.3%	18.1%	10.9%	12.9%	0.6%	100.0%



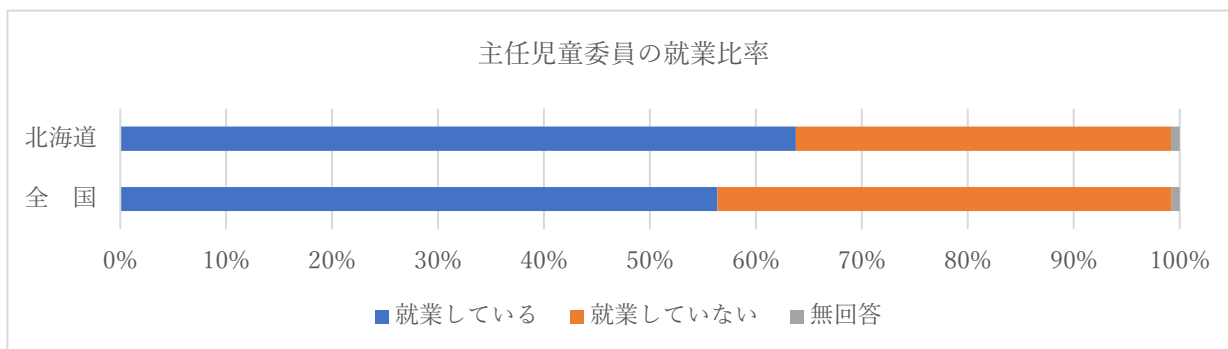
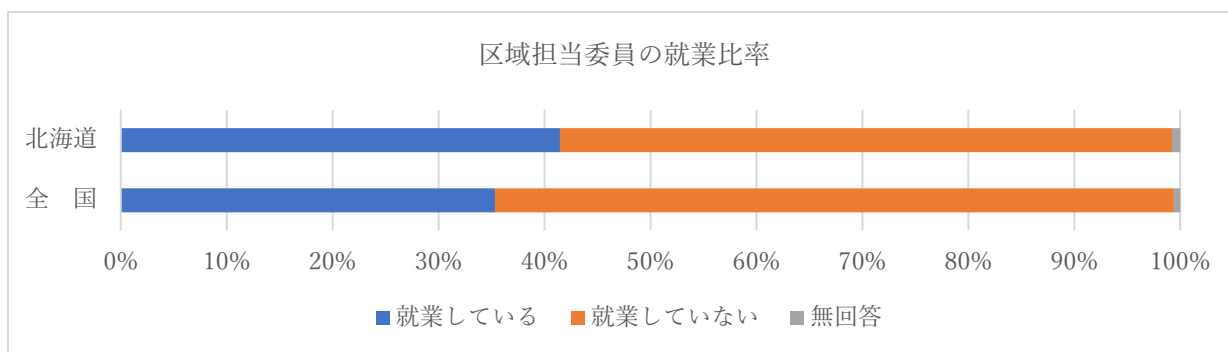
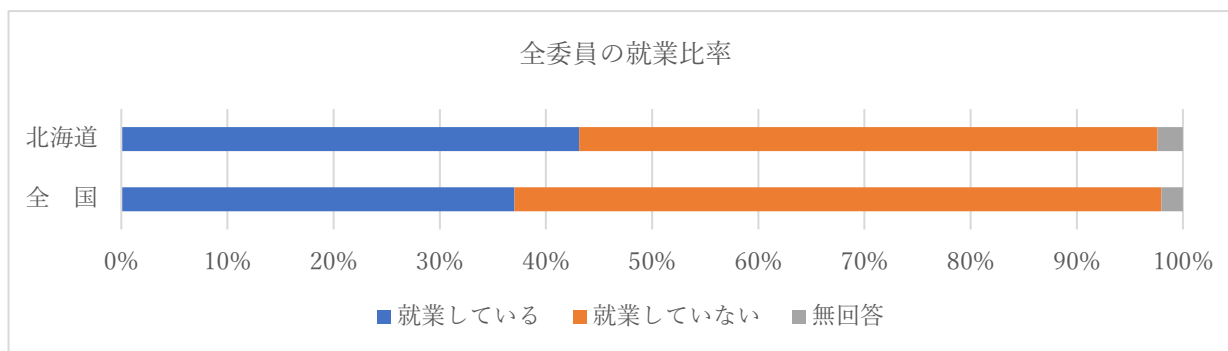
全国では3期目以上の委員の割合が41.0%であることに対して、北海道では55.8%であることから、全国と比較して14.8ポイントも高い割合を示している。

また、北海道の特徴としては、1期目～5期以上の各委員が概ね20%ずつ分布しており、現状では非常に良いバランスが保たれている。しかし、4期目と5期目以上の委員の年齢構成によっては、平成31年12月の一斉改選では全国と類似した年齢構成となる可能性が高い。

1-4① 就労の有無

	全委員			区域担当委員			主任児童委員		
	就業している	就業していない	無回答	就業している	就業していない	無回答	就業している	就業していない	無回答
北海道	3,250 43.1%	4,105 54.5%	181 2.4%	2,646 41.4%	3,688 57.8%	50 0.8%	463 63.8%	257 35.4%	6 0.8%
全国	74,353 37.0%	122,354 60.9%	4,043 2.0%	60,270 35.3%	109,425 64.1%	988 0.6%	10,976 56.4%	8,354 42.9%	147 0.8%

※全委員の数値は、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む



全国では37.0%の委員が就業していることに対し北海道では43.1%。比較して6.1ポイント高い数値を示している。また、主任児童委員だけでみると、北海道では63.8%の委員が就業している実態があることが明らかになった。

就業の有無は、活動や定例会への出席にも大きく影響するため、民生児童委員が活動を継続するために、民児協としてこの点に対する配慮が必要と思われる結果となった。

1-4② 職業（現職・前職）※全委員の数値は、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む

	委員の現職もしくは前職					
	全委員		区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国	北海道	全 国
会社員	1,331 17.7%	43,237 21.5%	1,184 18.5%	38,997 22.8%	92 12.7%	2,532 13.0%
自営業	1,079 14.3%	27,540 13.7%	921 14.4%	23,267 13.6%	110 15.2%	2,645 13.6%
農林水産業	429 5.7%	8,180 4.1%	365 5.7%	7,156 4.2%	23 3.2%	442 2.3%
学校教員 (私立も含む)	281 3.7%	8,420 4.2%	240 3.8%	6,746 4.0%	32 4.4%	1,533 7.9%
幼稚園や保育所の 職員(私立も含む)	184 2.4%	5,751 2.9%	116 1.8%	3,956 2.3%	66 9.1%	1,664 8.5%
宗教関係	133 1.8%	2,537 1.3%	108 1.7%	2,154 1.3%	23 3.2%	303 1.6%
法曹関係	10 0.1%	210 0.1%	9 0.1%	189 0.1%	1 0.1%	18 0.1%
社会福祉関係 (保育所は除く)	302 4.0%	7,564 3.8%	247 3.9%	6,298 3.7%	44 6.1%	969 5.0%
保健医療関係	173 2.3%	4,988 2.5%	148 2.3%	4,229 2.5%	18 2.5%	581 3.0%
団体職員	248 3.3%	5,465 2.7%	226 3.5%	4,925 2.9%	10 1.4%	353 1.8%
公務員(教員と施 設職員を除く)	622 8.3%	14,266 7.1%	554 8.7%	12,904 7.6%	40 5.5%	884 4.5%
専業主婦	1,341 17.8%	39,119 19.5%	1,172 18.4%	33,835 19.8%	118 16.3%	3,347 17.2%
その他	900 11.9%	22,620 11.3%	724 11.3%	18,215 10.7%	117 16.1%	3,367 17.3%
無回答	503 6.7%	10,853 5.4%	370 5.8%	7,812 4.6%	32 4.4%	839 4.3%
合 計	7,536 100.0%	200,750 100.0%	6,384 100.0%	170,683 100.0%	726 100.0%	19,477 100.0%

1-4② 現在就労している委員の現職

	就労中の委員の現職			
	区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国
会社員	465	10,695	67	1,593
	17.6%	17.7%	14.5%	14.5%
自営業	721	16,903	88	2,317
	27.2%	28.0%	19.0%	21.1%
農林水産業	307	5,036	21	334
	11.6%	8.4%	4.5%	3.0%
学校教員 (私立も含む)	28	773	7	305
	1.1%	1.3%	1.5%	2.8%
幼稚園や保育所の 職員(私立も含む)	42	1,236	38	762
	1.6%	2.1%	8.2%	6.9%
宗教関係	93	1,689	23	268
	3.5%	2.8%	5.0%	2.4%
法曹関係	6	103	1	12
	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%
社会福祉関係 (保育所は除く)	141	3,759	43	823
	5.3%	6.2%	9.3%	7.5%
保健医療関係	59	1,724	10	414
	2.2%	2.9%	2.2%	3.8%
団体職員	75	1,362	7	218
	2.8%	2.3%	1.5%	2.0%
公務員(教員と施 設職員を除く)	46	1,201	28	355
	1.7%	2.0%	6.0%	3.2%
専業主婦	54	1,344	12	236
	2.0%	2.2%	2.6%	2.2%
その他	466	11,558	100	2,879
	17.6%	19.2%	21.6%	26.2%
無回答	143	2,887	18	460
	5.4%	4.8%	3.9%	4.2%

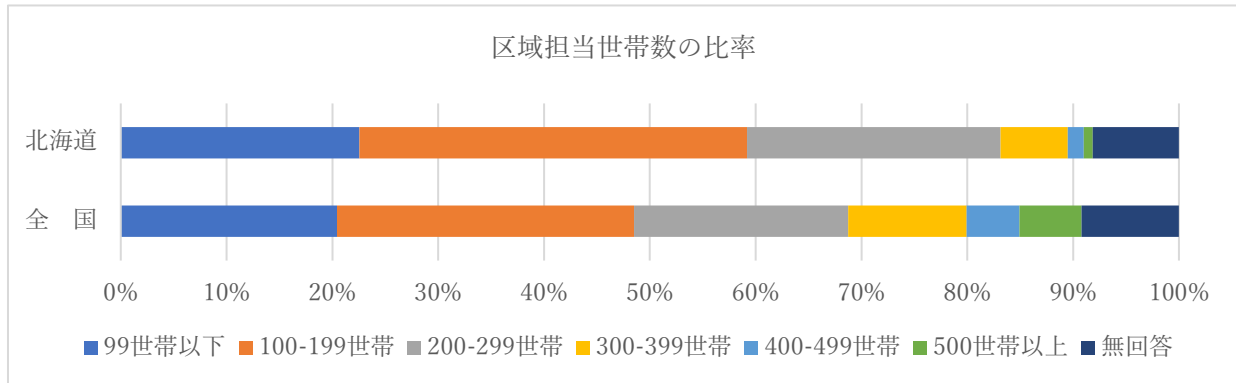
1-4② 現在就労していない委員の前職

	就労中の委員の現職			
	区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国
会社員	712	28,214	25	931
	19.3%	25.8%	9.7%	11.1%
自営業	191	6,194	20	308
	5.2%	5.7%	7.8%	3.7%
農林水産業	56	2,070	2	99
	1.5%	1.9%	0.8%	1.2%
学校教員 (私立も含む)	211	5,963	24	1,223
	5.7%	5.4%	9.3%	14.6%
幼稚園や保育所の 職員(私立も含む)	73	2,703	28	895
	2.0%	2.5%	10.9%	10.7%
宗教関係	14	455	0	32
	0.4%	0.4%	0.0%	0.4%
法曹関係	3	86	0	5
	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
社会福祉関係 (保育所は除く)	106	2,523	1	143
	2.9%	2.3%	0.4%	1.7%
保健医療関係	89	2,496	8	165
	2.4%	2.3%	3.1%	2.0%
団体職員	149	3,550	3	133
	4.0%	3.2%	1.2%	1.6%
公務員(教員と施 設職員を除く)	507	11,679	12	525
	13.7%	10.7%	4.7%	6.3%
専業主婦	1,099	32,179	105	3,070
	29.8%	29.4%	40.9%	36.7%
その他	255	6,532	16	467
	6.9%	6.0%	6.2%	5.6%
無回答	223	4,781	13	358
	6.0%	4.4%	5.1%	4.3%



## 2-1 担当区域の世帯数【区域担当委員】

	担当する区域の世帯数							合計
	99世帯以下	100-199世帯	200-299世帯	300-399世帯	400-499世帯	500世帯以上	無回答	
北海道	1,440 22.6%	2,339 36.6%	1,529 24.0%	405 6.3%	97 1.5%	54 0.8%	520 8.1%	6,384 100.0%
全国	34,887 20.4%	47,896 28.1%	34,559 20.2%	19,102 11.2%	8,510 5.0%	10,040 5.9%	15,689 9.2%	170,683 100.0%



全国、北海道共に、担当区域の世帯数は「100～199世帯」が最も多い。北海道では中核市を含み10万人以上の市は8市に留まり、その他の26市は人口10万人未満の配置基準の適用を受ける。また、全178市町村のうち、町村数は144町村（80.9%）であるため、配置基準の点からみても、このような実態になるものと思われる。

【参考】民生委員法第4条第1項の規定により都道府県等が条例を定めるにあたって参酌すべき基準

### 1 「区域又は事項を担当する民生委員・児童委員配置基準表」

区 分	配 置 基 準
1 東京都区部及び指定都市	220 から 440 までの間でいずれかの数の世帯ごとに民生委員・児童委員 1 名
2 中核市及び人口10万人以上の市	170 から 360 までの間でいずれかの数の世帯ごとに民生委員・児童委員 1 名
3 人口10万人未満の市	120 から 280 までの間でいずれかの数の世帯ごとに民生委員・児童委員 1 名
4 町村	70 から 200 までの間でいずれかの数の世帯ごとに民生委員・児童委員 1 名

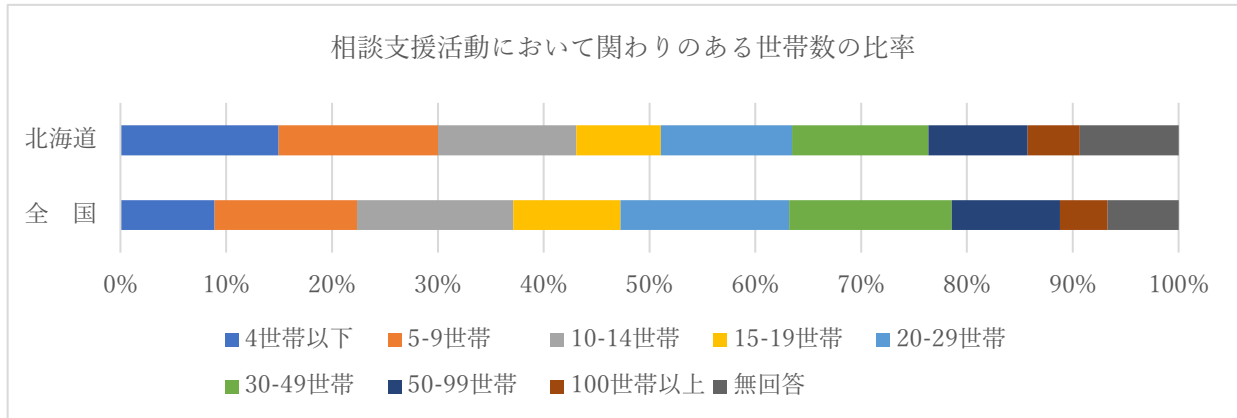
### 2 「主任児童委員配置基準表」

民生委員協議会の規模	主任児童委員の定数
民生委員・児童委員の定数 39 人以下	2 人
民生委員・児童委員の定数 40 人以上	3 人

※民生委員協議会の規模に主任児童委員の定数は含まない

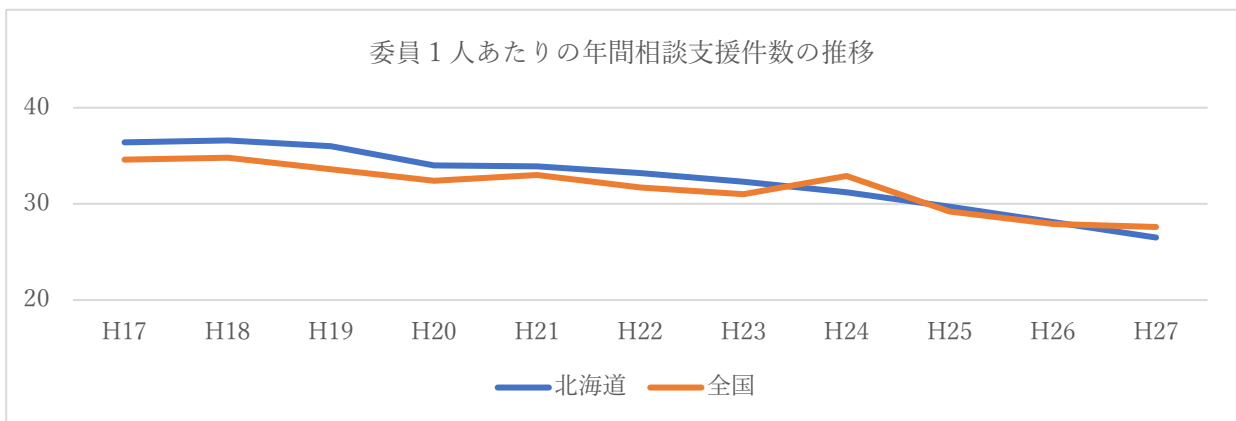
## 2-2 活動において関わりがある世帯数【区域担当委員】

	相談支援活動等において関わりがある世帯数									合計
	4世帯以下	5-9世帯	10-14世帯	15-19世帯	20-29世帯	30-49世帯	50-99世帯	100世帯以上	無回答	
北海道	954 14.9%	962 15.1%	834 13.1%	510 8.0%	792 12.4%	823 12.9%	598 9.4%	316 4.9%	595 9.3%	6,384 100.0%
全国	15,207 8.9%	22,973 13.5%	25,158 14.7%	17,320 10.1%	27,215 15.9%	26,250 15.4%	17,439 10.2%	7,694 4.5%	11,427 6.7%	170,683 100.0%



北海道の回答で最も多いのが「5-9世帯」で15.1%。全国では「20-29世帯」が最も多く15.9%となっている。20世帯以上の比率で比較すると、北海道が39.6%、全国が46.0%と全国の方が6.4ポイント高い。一方、福祉行政報告例による民生委員1人当たりの年間相談支援件数で比較すると、全国と北海道の差はほとんどない。全国と比較して、相談支援活動において関わりのある世帯が少なく、かつ、相談支援件数はほぼ同じということは、北海道の委員は1世帯に対して何度も関わる傾向が高く、密度の濃い支援を行っている可能性を示している。

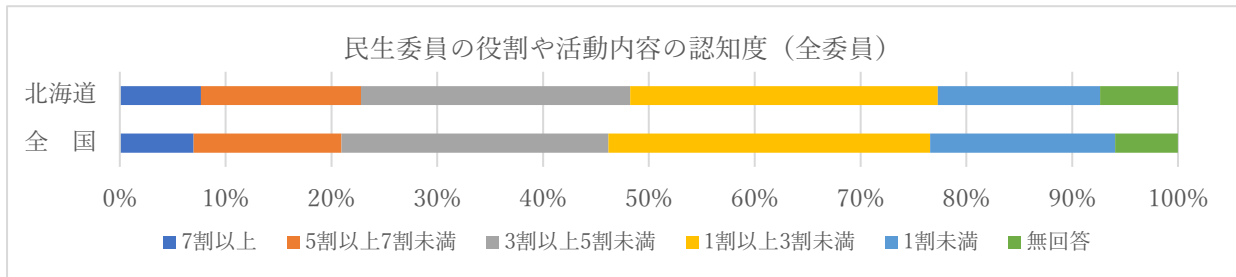
### 【参考】委員1人あたりの年間相談支援件数の推移



### 3-1 民生委員の役割や活動内容の認知度【全委員】

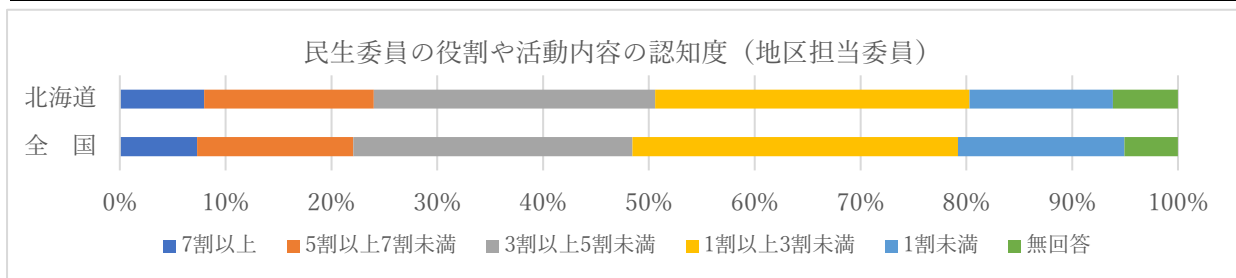
	民生委員児童委員の役割や活動内容について知っている住民の割合						合計
	7割以上	5割以上 7割未満	3割以上 5割未満	1割以上 3割未満	1割未満	無回答	
北海道	578 7.7%	1,140 15.1%	1,917 25.4%	2,191 29.1%	1,155 15.3%	555 7.4%	7,536 100.0%
全国	14,005 7.0%	28,052 14.0%	50,669 25.2%	61,014 30.4%	35,083 17.5%	11,927 5.9%	200,750 100.0%

※全委員の数値は、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む



### 3-1 民生委員の役割や活動内容の認知度【地区担当委員】

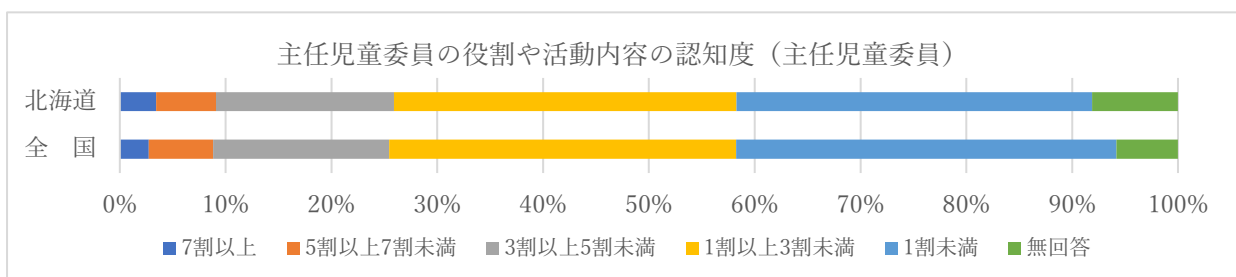
	民生委員児童委員の役割や活動内容について知っている住民の割合						合計
	7割以上	5割以上 7割未満	3割以上 5割未満	1割以上 3割未満	1割未満	無回答	
北海道	508 8.0%	1,025 16.1%	1,697 26.6%	1,896 29.7%	866 13.6%	392 6.1%	6,384 100.0%
全国	12,486 7.3%	25,169 14.7%	45,051 26.4%	52,476 30.7%	26,856 15.7%	8,645 5.1%	170,683 100.0%



### 3-1 民生委員の役割や活動内容の認知度【主任児童委員】

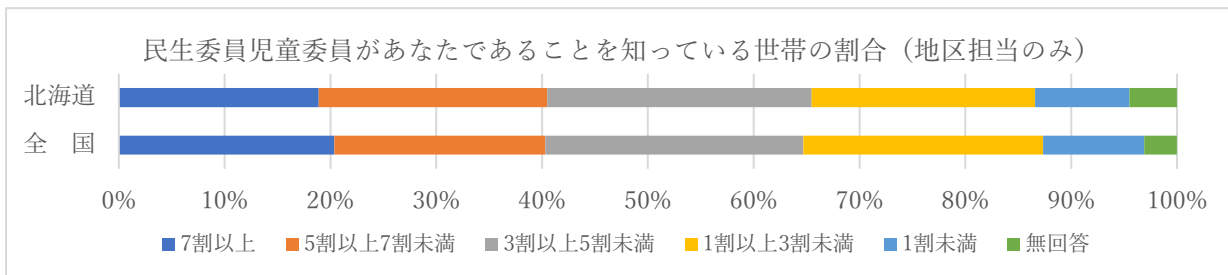
	主任児童委員の役割や活動内容について知っている住民の割合						合計
	7割以上	5割以上 7割未満	3割以上 5割未満	1割以上 3割未満	1割未満	無回答	
北海道	25 3.4%	41 5.6%	122 16.8%	235 32.4%	244 33.6%	59 8.1%	726 100.0%
全国	530 2.7%	1,187 6.1%	3,240 16.6%	6,388 32.8%	6,997 35.9%	1,135 5.8%	19,477 100.0%

※担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む



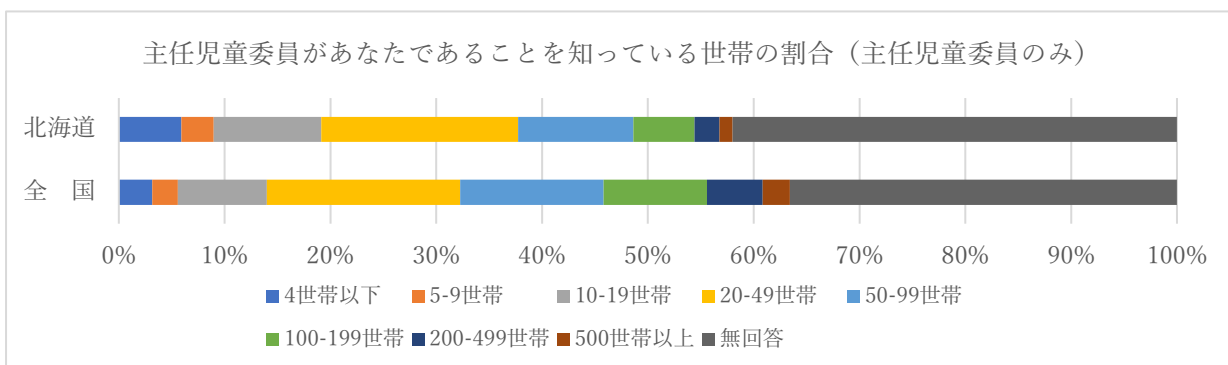
3-2 その区域を担当する民生委員児童委員があなたであることを知っている世帯の割合【区域担当委員のみ】

	区域担当の民生委員児童委員があなたであることを知っている世帯の割合						合計
	7割以上	5割以上 7割未満	3割以上 5割未満	1割以上 3割未満	1割未満	無回答	
北海道	1,205 18.9%	1,379 21.6%	1,596 25.0%	1,347 21.1%	570 8.9%	287 4.5%	6,384 100.0%
全国	34,786 20.4%	34,002 19.9%	41,639 24.4%	38,650 22.6%	16,302 9.6%	5,304 3.1%	170,683 100.0%



3-3 地域の主任児童委員があなたであることを知っている世帯の割合【主任児童委員のみ】

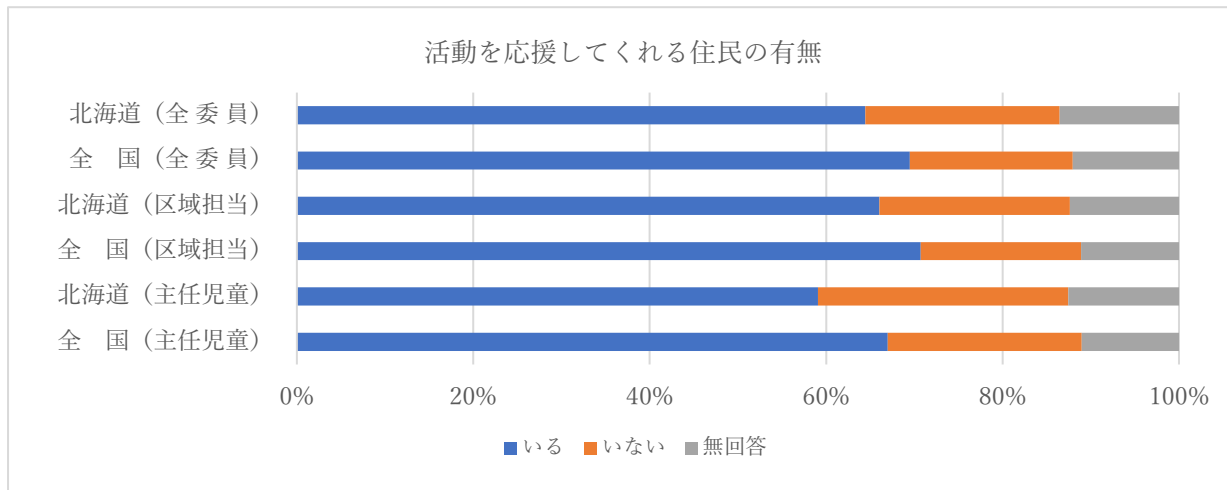
	地域の主任児童委員があなたであることを知っている世帯数									合計
	4世帯以下	5-9世帯	10-19世帯	20-49世帯	50-99世帯	100-199世帯	200-499世帯	500世帯以上	無回答	
北海道	43 5.9%	22 3.0%	74 10.2%	135 18.6%	79 10.9%	42 5.8%	17 2.3%	9 1.2%	305 42.0%	726 100.0%
全国	614 3.2%	471 2.4%	1,639 8.4%	3,557 18.3%	2,644 13.6%	1,900 9.8%	1,025 5.3%	499 2.6%	7,128 36.6%	19,477 100.0%



### 3-4 活動を応援してくれる住民の有無

	全委員			区域担当委員			主任児童委員		
	いる	いない	無回答	いる	いない	無回答	いる	いない	無回答
北海道	4,856 64.4%	1,660 22.0%	1,020 13.5%	4,215 66.0%	1,379 21.6%	790 12.4%	429 59.1%	206 28.4%	91 12.5%
全国	139,490 69.5%	37,117 18.5%	24,143 12.0%	120,735 70.7%	30,977 18.1%	18,971 11.1%	13,047 67.0%	4,282 22.0%	2,148 11.0%

※全委員の数値は、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む

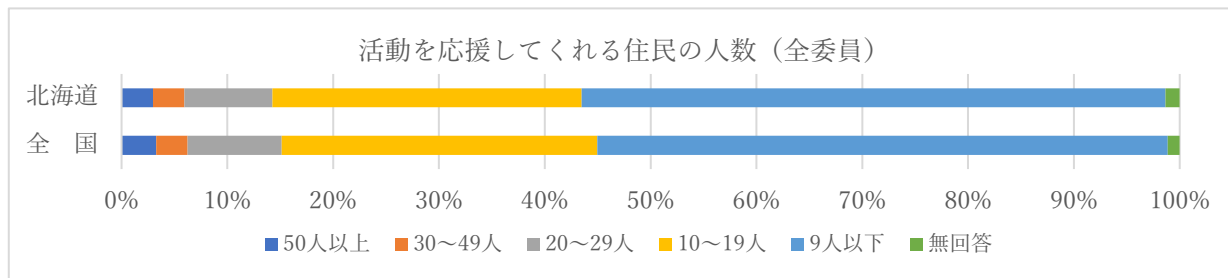


この調査結果において着目すべきは、(応援してくれる住民が)「いる」という回答数ではなく、逆に「いない」の回答数にあると考える。全国では「いない」の回答が18.5%に対し、北海道では22.0%となっている。特に、主任児童委員は28.4%が「いない」と回答している。全民児連「民生委員制度創設100周年活動強化方策」において、「住民同士が支え合える仕組みづくりへの協力」を掲げている。このことから、「地域住民との協働」は、これからの民生委員活動のキーワードとなるため、この調査結果は大きな課題として受け止める必要があると考える。

### 3-5 活動を応援してくれる住民の人数【全委員】

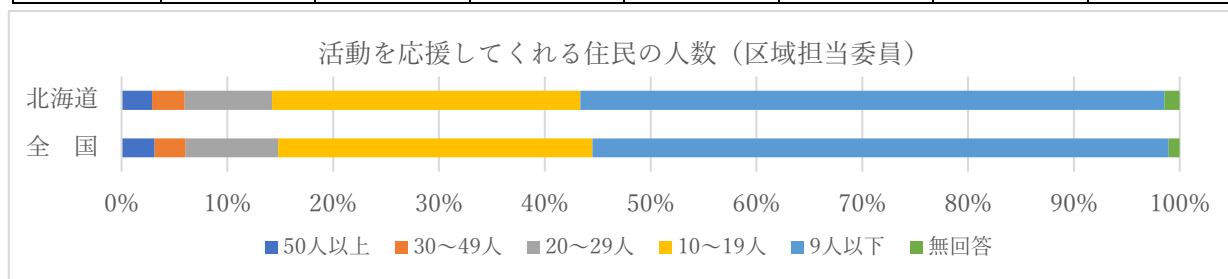
	活動を応援してくれる住民の人数						合計
	50人以上	30～49人 ぐらい	20～29人 ぐらい	10～19人 ぐらい	9人以下	無回答	
北海道	145 3.0%	143 2.9%	405 8.3%	1,419 29.2%	2,678 55.1%	66 1.4%	4,856 100.0%
全国	4,589 3.3%	4,095 2.9%	12,423 8.9%	41,620 29.8%	75,197 53.9%	1,566 1.1%	139,490 100.0%

※担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む



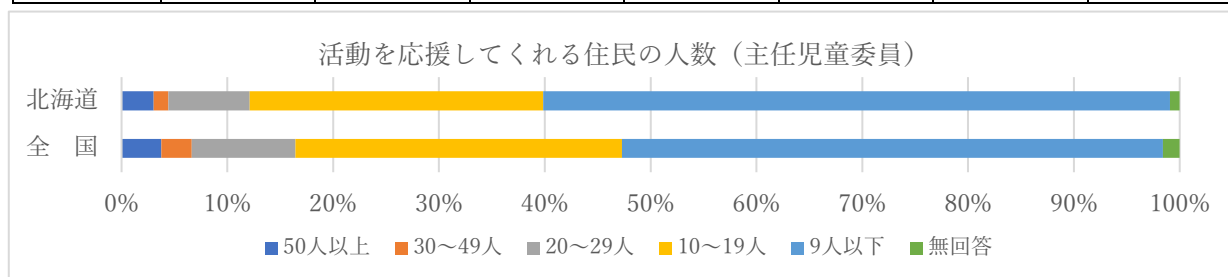
### 3-5 活動を応援してくれる住民の人数【区域担当委員】

	活動を応援してくれる住民の人数						合計
	50人以上	30～49人 ぐらい	20～29人 ぐらい	10～19人 ぐらい	9人以下	無回答	
北海道	122 2.9%	130 3.1%	348 8.3%	1,228 29.1%	2,327 55.2%	60 1.4%	4,856 100.0%
全国	3,774 3.1%	3,532 2.9%	10,546 8.7%	35,894 29.7%	65,743 54.5%	1,246 1.0%	120,735 100.0%



### 3-5 活動を応援してくれる住民の人数【主任児童委員】

	活動を応援してくれる住民の人数						合計
	50人以上	30～49人 ぐらい	20～29人 ぐらい	10～19人 ぐらい	9人以下	無回答	
北海道	13 3.0%	6 1.4%	33 7.7%	119 27.7%	254 59.2%	4 0.9%	429 100.0%
全国	490 3.8%	375 2.9%	1,280 9.8%	4,024 30.8%	6,670 51.1%	208 1.6%	13,047 100.0%

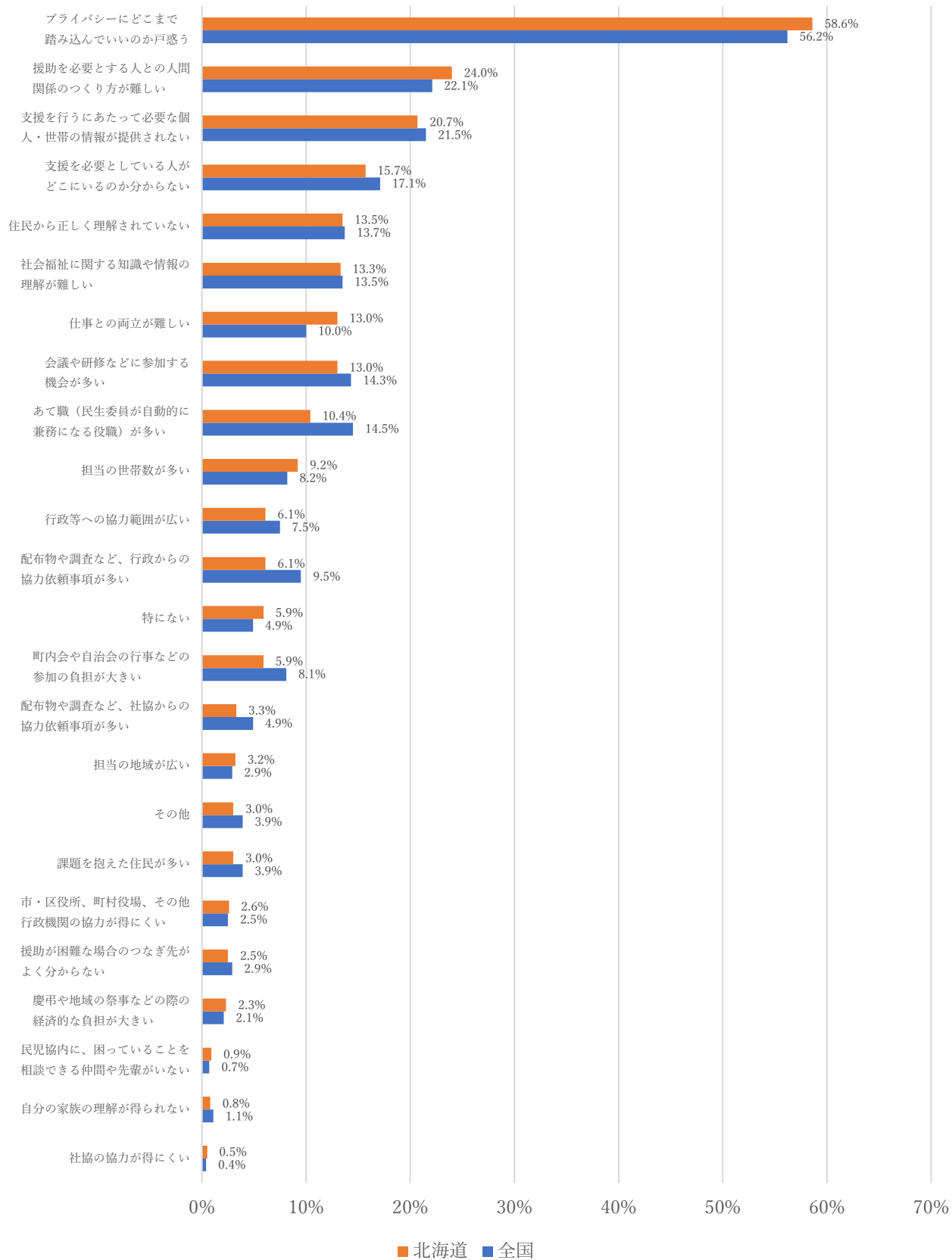


4-1 委員活動における悩みや苦勞 ※上位3項目回答集計

	委員活動における悩みや苦勞					
	全委員		区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国	北海道	全 国
プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う	4,417	112,790	3,838	98,220	385	9,904
	58.6%	56.2%	60.1%	57.5%	53.0%	50.8%
支援を必要としている人がどこにいるのかわからない	1,183	34,424	944	27,912	194	5,471
	15.7%	17.1%	14.8%	16.4%	26.7%	28.1%
支援を行うにあたって必要な個人・世帯の情報が提供されない	1,561	43,219	1,365	36,828	130	4,830
	20.7%	21.5%	21.4%	21.6%	17.9%	24.8%
社会福祉に関する知識や情報の理解が難しい	1,002	27,039	886	24,305	72	1,647
	13.3%	13.5%	13.9%	14.2%	9.9%	8.5%
援助を必要とする人との人間関係のつくり方が難しい	1,812	44,445	1,593	38,256	157	4,481
	24.0%	22.1%	25.0%	22.4%	21.6%	23.0%
援助が困難な場合のつなぎ先がよくわからない	192	5,855	160	5,027	20	528
	2.5%	2.9%	2.5%	2.9%	2.8%	2.7%
配布物や調査など、行政からの協力依頼事項が多い	460	19,096	430	17,729	18	478
	6.1%	9.5%	6.7%	10.4%	2.5%	2.5%
配布物や調査など、社協からの協力依頼事項が多い	245	9,853	231	9,150	7	257
	3.3%	4.9%	3.6%	5.4%	1.0%	1.3%
行政等への協力範囲が広い(福祉だけでなく教育や保健分野へのかかわりなど)	459	15,128	416	13,610	27	985
	6.1%	7.5%	6.5%	8.0%	3.7%	5.1%
あて職(民生委員が自動的に兼務になる役職)が多い	786	29,096	666	24,152	81	3,975
	10.4%	14.5%	10.4%	14.2%	11.2%	20.4%
会議や研修などに参加する機会が多い	981	28,762	834	23,415	101	4,305
	13.0%	14.3%	13.1%	13.7%	13.9%	22.1%
町内会や自治会の行事などの参加の負担が大きい	444	16,278	387	14,113	28	1,425
	5.9%	8.1%	6.1%	8.3%	3.9%	7.3%
慶弔や地域の祭事などの際の経済的な負担が大きい	170	4,274	152	3,851	7	169
	2.3%	2.1%	2.4%	2.3%	1.0%	0.9%
課題を抱えた住民が多い	227	7,915	202	7,038	12	478
	3.0%	3.9%	3.2%	4.1%	1.7%	2.5%
担当の世帯数が多い	694	16,544	649	15,317	14	486
	9.2%	8.2%	10.2%	9.0%	1.9%	2.5%
担当の地域が広い(移動に時間や費用がかかる)	238	5,778	204	4,843	21	662
	3.2%	2.9%	3.2%	2.8%	2.9%	3.4%
市・区役所、町村役場、その他行政機関の協力が得にくい	193	4,960	165	4,205	16	526
	2.6%	2.5%	2.6%	2.5%	2.2%	2.7%
社協の協力が得にくい	36	876	33	753	1	69
	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.1%	0.4%
民児協内に、困っていることを相談できる仲間や先輩がいない	65	1,363	58	1,131	4	149
	0.9%	0.7%	0.9%	0.7%	0.6%	0.8%
自分の家族の理解が得られない	61	2,247	53	1,861	5	317
	0.8%	1.1%	0.8%	1.1%	0.7%	1.6%
仕事との両立が難しい	979	20,161	780	16,004	164	3,459
	13.0%	10.0%	12.2%	9.4%	22.6%	17.8%
住民から正しく理解されていない(給料をもらっている、何でもやってくれる等の誤解)	1,021	27,516	903	24,639	64	1,615
	13.5%	13.7%	14.1%	14.4%	8.8%	8.3%
その他	229	7,819	187	6,604	36	1,042
	3.0%	3.9%	2.9%	3.9%	5.0%	5.3%
特にない	446	9,633	372	8,466	50	753
	5.9%	4.8%	5.8%	5.0%	6.9%	3.9%

※全委員には、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む

### 委員活動における悩みや苦勞（全委員）※上位3項目集計



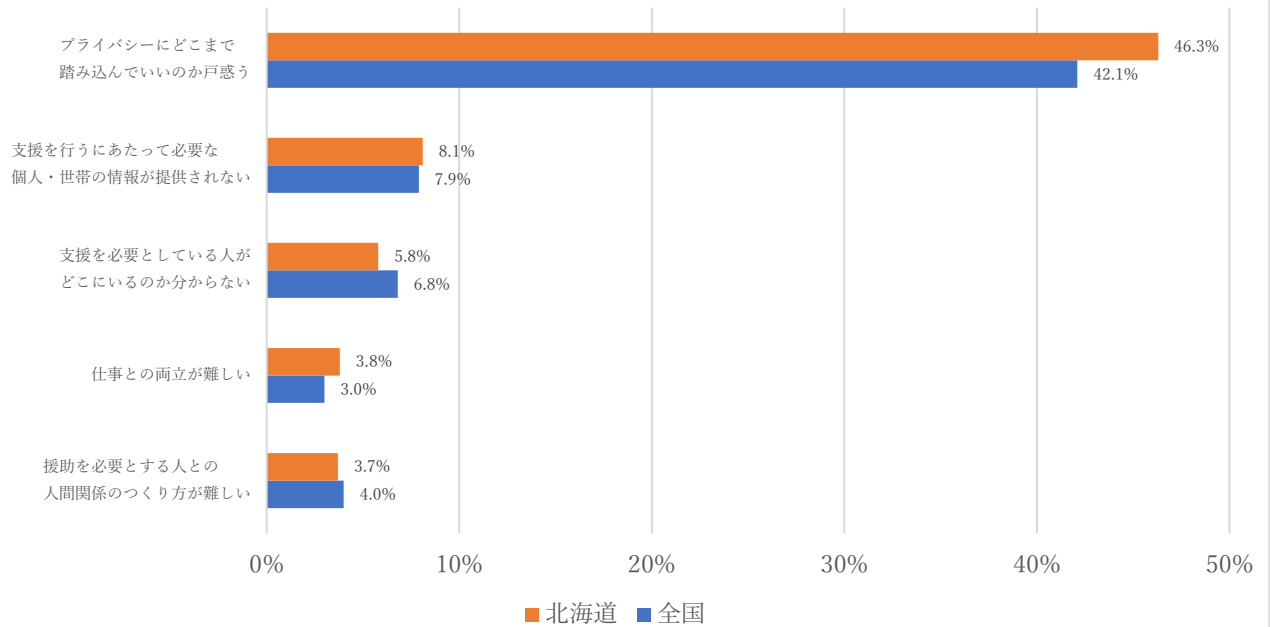


4-1 委員活動における悩みや苦勞 ※第1位回答集計

	委員活動における悩みや苦勞			
	区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国
プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う	2,953 46.3%	71,910 42.1%	264 36.4%	6,359 32.6%
支援を必要としている人がどこにいるのか分からない	373 5.8%	11,678 6.8%	88 12.1%	2,727 14.0%
支援を行うにあたって必要な個人・世帯の情報が提供されない	515 8.1%	13,533 7.9%	43 5.9%	1,754 9.0%
社会福祉に関する知識や情報の理解が難しい	170 2.7%	4,781 2.8%	15 2.1%	295 1.5%
援助を必要とする人との人間関係のつくり方が難しい	234 3.7%	6,893 4.0%	26 3.6%	942 4.8%
援助が困難な場合のつなぎ先がよく分からない	10 0.2%	518 0.3%	1 0.1%	46 0.2%
配布物や調査など、行政からの協力依頼事項が多い	104 1.6%	4,849 2.8%	3 0.4%	123 0.6%
配布物や調査など、社協からの協力依頼事項が多い	36 0.6%	1,754 1.0%	1 0.1%	48 0.2%
行政等への協力範囲が広い(福祉だけでなく教育や保健分野へのかかわりなど)	44 0.7%	2,301 1.3%	3 0.4%	162 0.8%
あて職(民生委員が自動的に兼務になる役職)が多い	143 2.2%	5,856 3.4%	23 3.2%	1,039 5.3%
会議や研修などに参加する機会が多い	133 2.1%	4,106 2.4%	21 2.9%	895 4.6%
町内会や自治会の行事などの参加の負担が大きい	63 1.0%	2,234 1.3%	3 0.4%	208 1.1%
慶弔や地域の祭事などの際の経済的な負担が大きい	16 0.3%	403 0.2%	3 0.4%	24 0.1%
課題を抱えた住民が多い	36 0.6%	1,728 1.0%	3 0.4%	114 0.6%
担当の世帯数が多い	131 2.1%	3,828 2.2%	2 0.3%	94 0.5%
担当の地域が広い(移動に時間や費用がかかる)	44 0.7%	852 0.5%	2 0.3%	119 0.6%
市・区役所、町村役場、その他行政機関の協力が得にくい	24 0.4%	716 0.4%	1 0.1%	89 0.5%
社協の協力が得にくい	3 0.0%	82 0.0%	0 0.0%	9 0.0%
民児協内に、困っていることを相談できる仲間や先輩がいない	8 0.1%	139 0.1%	1 0.1%	15 0.1%
自分の家族の理解が得られない	5 0.1%	271 0.2%	0 0.0%	60 0.3%
仕事との両立が難しい	245 3.8%	5,080 3.0%	60 8.3%	1,298 6.7%
住民から正しく理解されていない(給料ももらっている、何でもやってくれる等の誤解)	96 1.5%	2,845 1.7%	5 0.7%	171 0.9%
その他	64 1.0%	2,431 1.4%	16 2.2%	437 2.2%
特にない	121 1.9%	2,629 1.5%	28 3.9%	268 1.4%
無回答	813 12.7%	19,266 11.3%	114 15.7%	2,181 11.2%

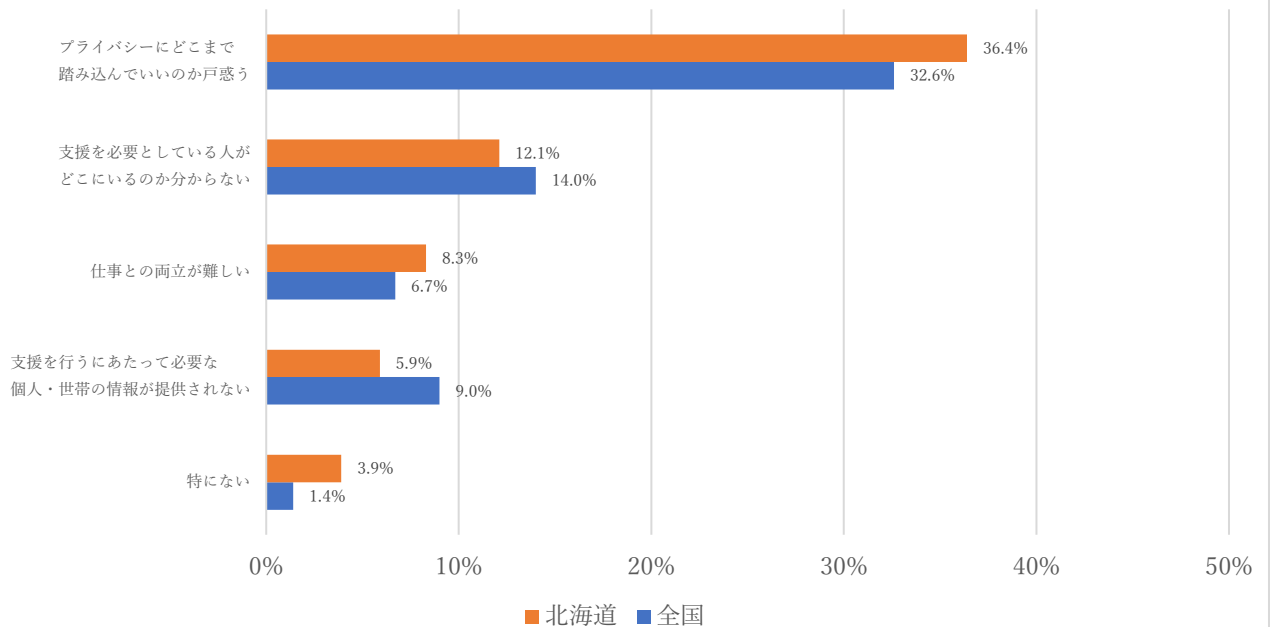
### 委員活動における悩みや苦勞（区域担当委員）

※回答比率が高い上位5項目を抽出



### 委員活動における悩みや苦勞（主任児童委員）

※回答比率が高い上位5項目を抽出

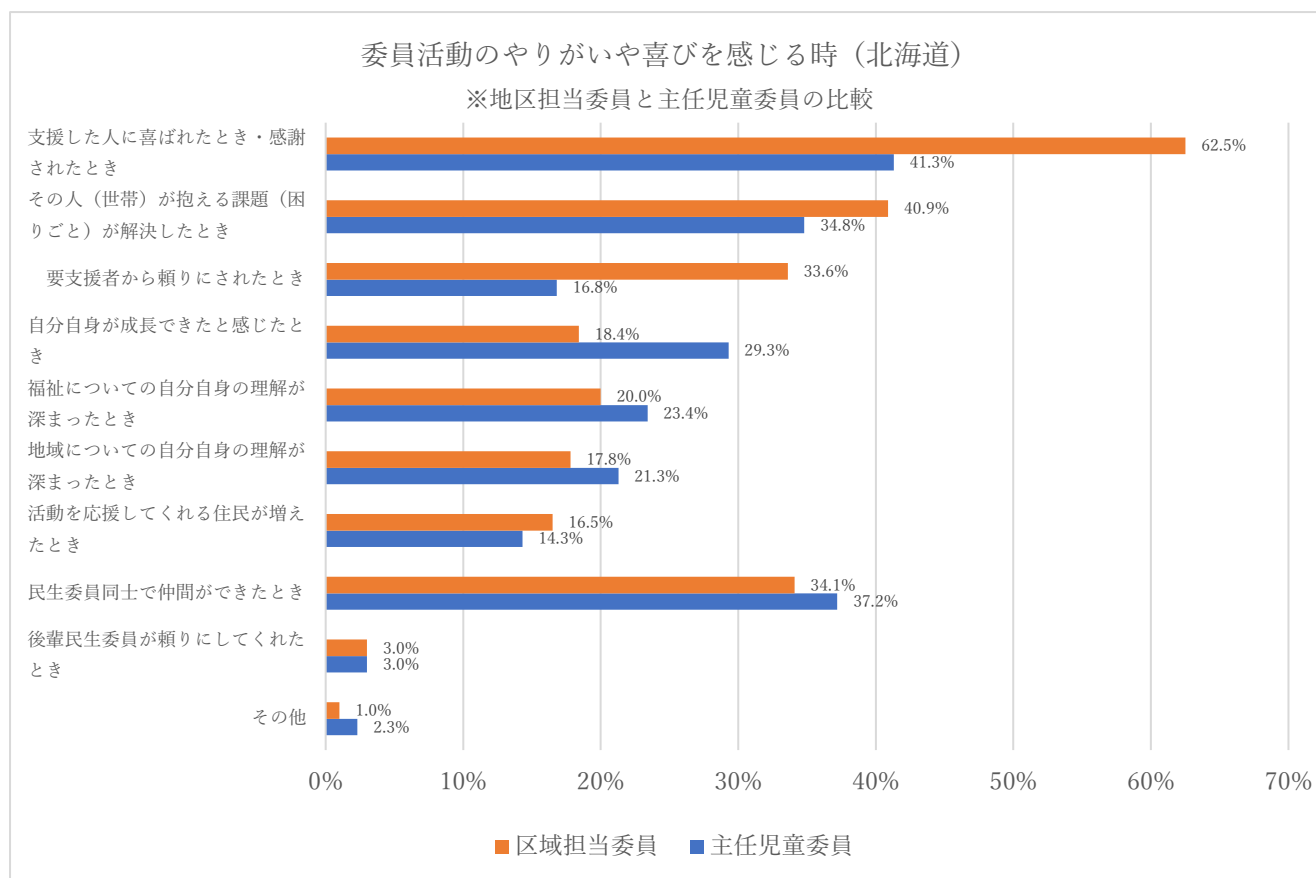


全国、北海道ともに、一番多い悩みは「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか分からない」という回答。区域担当委員と主任児童委員を回答比率が高い上位5項目で比較しても類似した結果となっている。

#### 4-2 委員活動のやりがいや喜びを感じる時 ※上位3項目回答集計

	委員活動のやりがいや喜びを感じる時					
	全委員		区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国	北海道	全 国
支援した人に喜ばれたとき・感謝されたとき	4,709 62.5%	136,845 68.2%	4,196 65.7%	121,100 71.0%	300 41.3%	10,097 51.8%
その人（世帯）が抱える課題（困りごと）が解決したとき	3,083 40.9%	84,261 42.0%	2,726 42.7%	74,330 43.5%	253 34.8%	6,972 35.8%
要支援者から頼りにされたとき	2,530 33.6%	69,250 34.5%	2,296 36.0%	62,699 36.7%	122 16.8%	3,646 18.7%
自分自身が成長できたと感じたとき	1,387 18.4%	36,851 18.4%	1,099 17.2%	29,616 17.4%	213 29.3%	5,536 28.4%
福祉についての自分自身の理解が深まったとき	1,505 20.0%	38,834 19.3%	1,261 19.8%	32,329 18.9%	170 23.4%	4,746 24.4%
地域についての自分自身の理解が深まったとき	1,345 17.8%	38,097 19.0%	1,127 17.7%	32,047 18.8%	155 21.3%	4,404 22.6%
活動を応援してくれる住民が増えたとき	1,245 16.5%	34,462 17.2%	1,077 16.9%	29,588 17.3%	104 14.3%	3,383 17.4%
民生委員同士で仲間ができたとき	2,568 34.1%	68,405 34.1%	2,178 34.1%	57,482 33.7%	270 37.2%	7,918 40.7%
後輩民生委員が頼りにしてくれたとき	227 3.0%	5,161 2.6%	189 3.0%	4,407 2.6%	22 3.0%	495 2.5%
その他	78 1.0%	2,139 1.1%	59 0.9%	1,559 0.9%	17 2.3%	535 2.7%

※全委員には、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む



支援対象者との関わりの中でやりがいを感じており、区域担当委員は特にその傾向が高い。一方、主任児童委員は、自己の成長に関してもやりがいを感じる傾向がある。

4-3 民生委員児童委員になったことを「どう感じているか」【全委員】

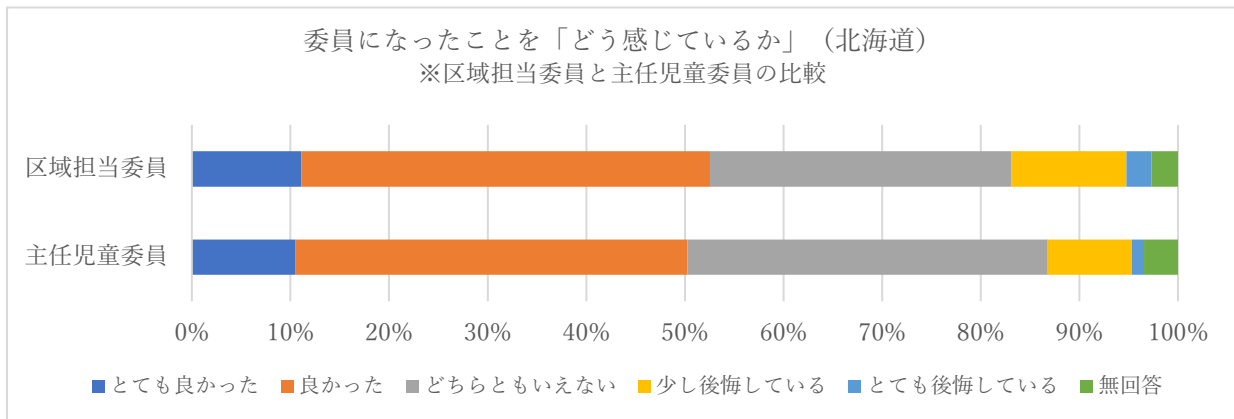
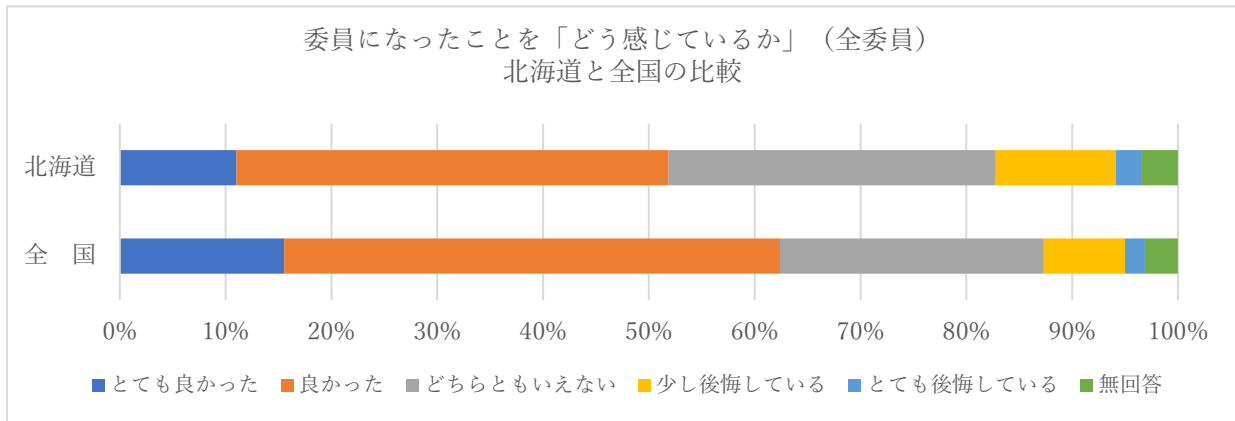
	委員になったことをどう感じているか						合計
	とても良かった	良かった	どちらともいえない	少し後悔している	とても後悔している	無回答	
北海道	832 11.0%	3,082 40.9%	2,322 30.8%	857 11.4%	180 2.4%	263 3.5%	7,536 100.0%
全国	31,192 15.5%	94,078 46.9%	49,992 24.9%	15,434 7.7%	3,808 1.9%	6,246 3.1%	200,750 100.0%

4-3 民生委員児童委員になったことを「どう感じているか」【区域担当委員】

	委員になったことをどう感じているか						合計
	とても良かった	良かった	どちらともいえない	少し後悔している	とても後悔している	無回答	
北海道	708 11.1%	2,647 41.5%	1,950 30.5%	746 11.7%	160 2.5%	173 2.7%	6,384 100.0%
全国	26,571 15.6%	80,367 47.1%	42,715 25.0%	13,461 7.9%	3,273 1.9%	4,296 2.5%	170,683 100.0%

4-3 民生委員児童委員になったことを「どう感じているか」【主任児童委員】

	委員になったことをどう感じているか						合計
	とても良かった	良かった	どちらともいえない	少し後悔している	とても後悔している	無回答	
北海道	76 10.5%	289 39.8%	265 36.5%	62 8.5%	9 1.2%	25 3.4%	726 100.0%
全国	2,981 15.3%	9,474 48.6%	4,903 25.2%	1,262 6.5%	354 1.8%	503 2.6%	19,477 100.0%

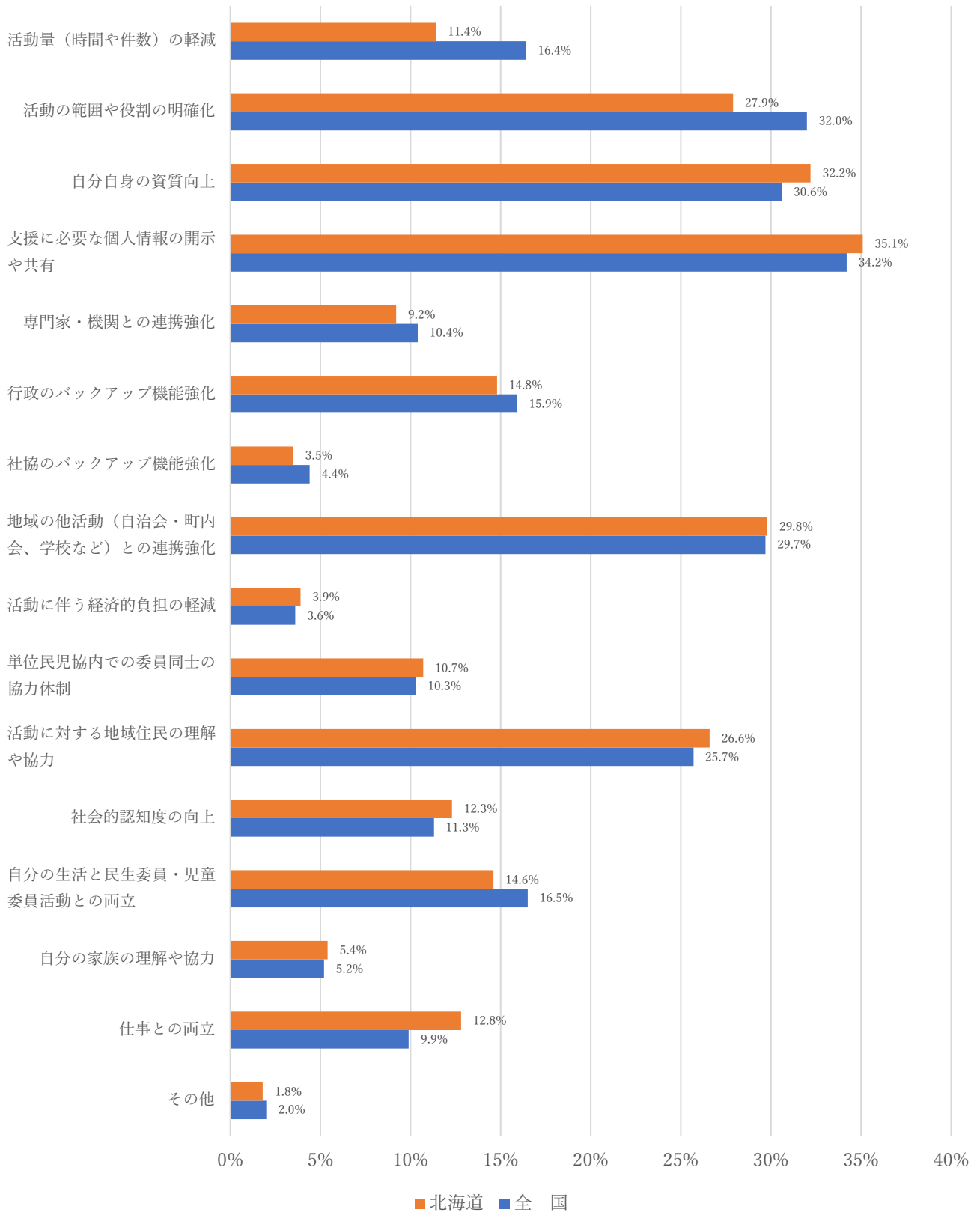


4-4 円滑な委員活動のために希望すること ※上位3項目回答集計

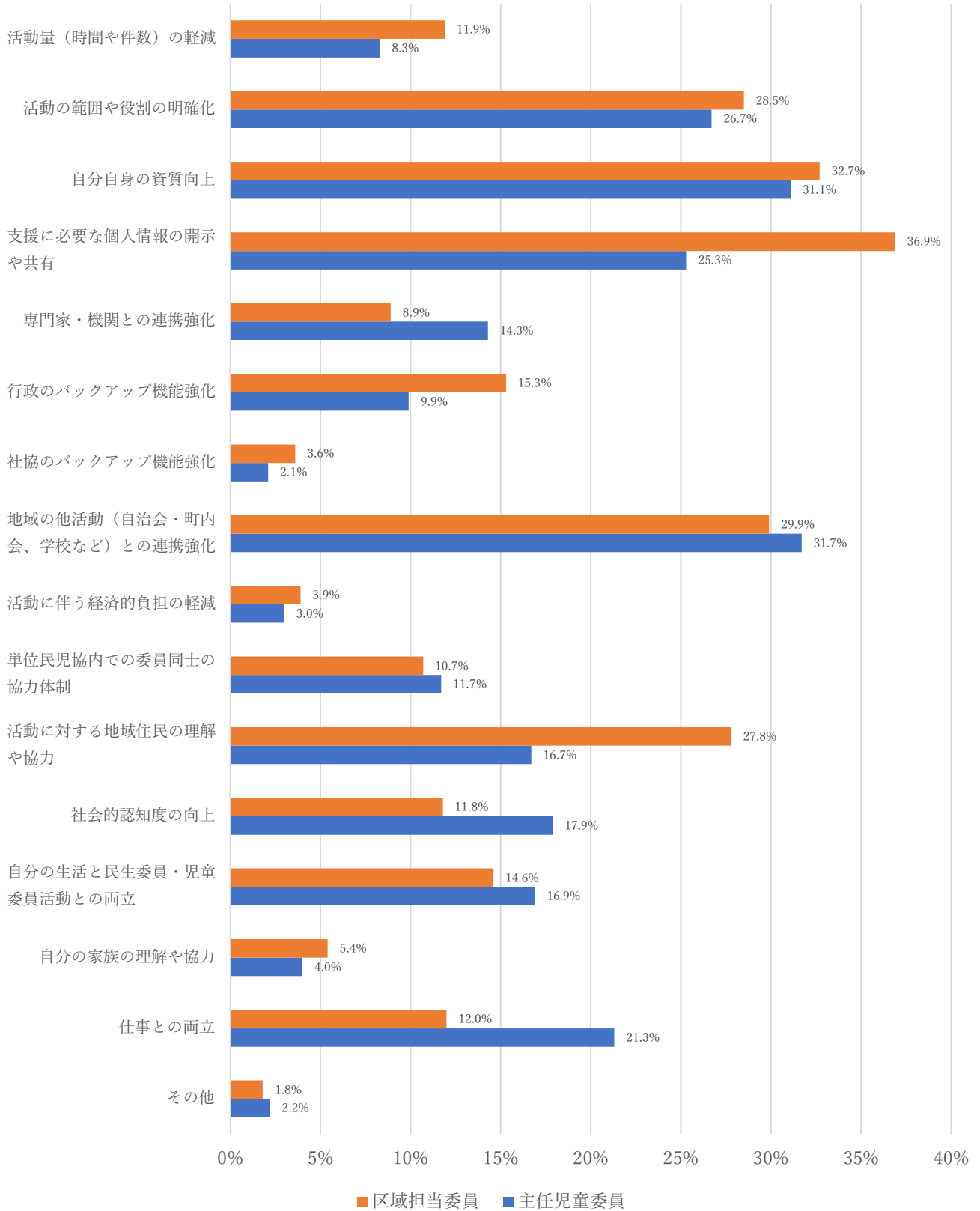
	円滑な委員活動のために希望すること					
	全委員		区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国	北海道	全 国
活動量（時間や件数）の軽減	862	33,007	757	29,008	60	2,539
	11.4%	16.4%	11.9%	17.0%	8.3%	13.0%
活動の範囲や役割の明確化	2,101	64,260	1,821	55,825	194	6,066
	27.9%	32.0%	28.5%	32.7%	26.7%	31.1%
自分自身の資質向上	2,428	61,374	2,089	52,947	226	5,792
	32.2%	30.6%	32.7%	31.0%	31.1%	29.7%
支援に必要な個人情報の開示や共有	2,646	68,571	2,356	60,034	184	5,987
	35.1%	34.2%	36.9%	35.2%	25.3%	30.7%
専門家・機関との連携強化	697	20,872	570	17,260	104	2,807
	9.2%	10.4%	8.9%	10.1%	14.3%	14.4%
行政のバックアップ機能強化	1,116	31,964	978	28,268	72	2,244
	14.8%	15.9%	15.3%	16.6%	9.9%	11.5%
社協のバックアップ機能強化	260	8,811	230	7,865	15	437
	3.5%	4.4%	3.6%	4.6%	2.1%	2.2%
地域の他活動（自治会・町内会、学校など）との連携強化	2,249	59,574	1,909	50,970	230	5,927
	29.8%	29.7%	29.9%	29.9%	31.7%	30.4%
活動に伴う経済的負担の軽減	291	7,231	247	6,276	22	587
	3.9%	3.6%	3.9%	3.7%	3.0%	3.0%
単位民児協内での委員同士の協力体制	806	20,702	681	17,530	85	2,275
	10.7%	10.3%	10.7%	10.3%	11.7%	11.7%
活動に対する地域住民の理解や協力	2,007	51,501	1,777	45,863	121	3,255
	26.6%	25.7%	27.8%	26.9%	16.7%	16.7%
社会的認知度の向上	924	22,619	754	18,268	130	3,485
	12.3%	11.3%	11.8%	10.7%	17.9%	17.9%
自分の生活と民生委員・児童委員活動との両立	1,099	33,127	935	28,039	123	3,900
	14.6%	16.5%	14.6%	16.4%	16.9%	20.0%
自分の家族の理解や協力	410	10,490	343	8,743	29	1,065
	5.4%	5.2%	5.4%	5.1%	4.0%	5.5%
仕事との両立	962	19,774	763	15,656	155	3,266
	12.8%	9.9%	12.0%	9.2%	21.3%	16.8%
その他	132	3,933	112	3,388	16	404
	1.8%	2.0%	1.8%	2.0%	2.2%	2.1%

※全委員には、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む

円滑な委員活動のために希望すること（全委員）※上位3項目集計  
北海道と全国の比較



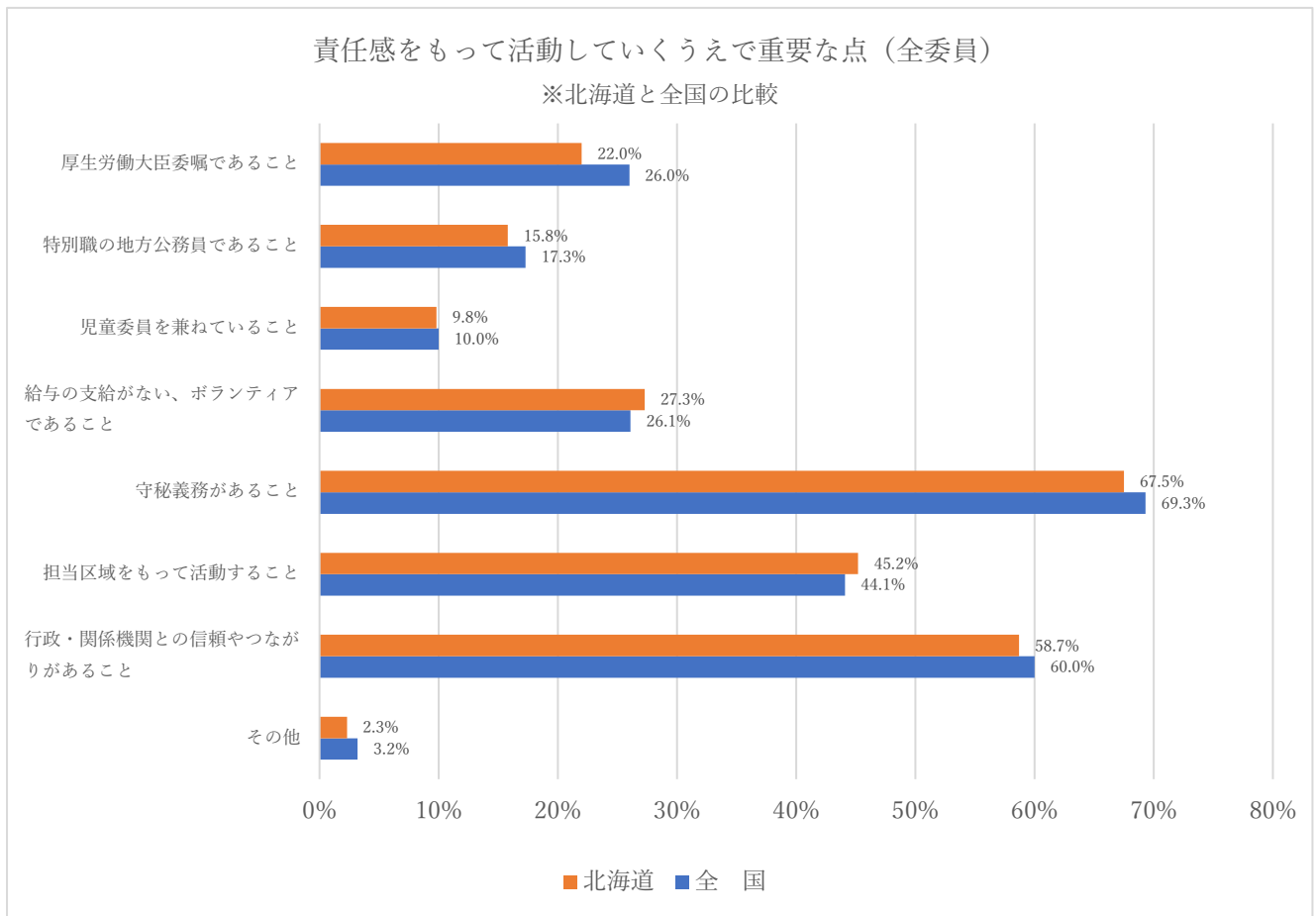
円滑な委員活動のために希望すること（北海道）※上位3項目集計  
 区域担当委員と主任児童委員の比較



4-5 責任感をもって活動していくうえで重要であると思うこと ※上位3項目回答集計

	責任感をもって活動していくうえで重要な点					
	全委員		区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国	北海道	全 国
厚生労働大臣委嘱であること	1,660 22.0%	52,197 26.0%	1,392 21.8%	44,493 26.1%	159 21.9%	5,040 25.9%
特別職の地方公務員であること	1,189 15.8%	34,774 17.3%	1,030 16.1%	30,076 17.6%	102 14.0%	3,192 16.4%
児童委員を兼ねていること	735 9.8%	20,065 10.0%	612 9.6%	17,467 10.2%	77 10.6%	1,627 8.4%
給与の支給がない、ボランティアであること	2,056 27.3%	52,420 26.1%	1,807 28.3%	46,059 27.0%	163 22.5%	4,119 21.1%
守秘義務があること	5,084 67.5%	139,028 69.3%	4,366 68.4%	119,309 69.9%	487 67.1%	13,844 71.1%
担当区域をもって活動すること	3,403 45.2%	88,569 44.1%	3,043 47.7%	79,177 46.4%	194 26.7%	5,327 27.4%
行政・関係機関との信頼やつながりがあること	4,425 58.7%	120,509 60.0%	3,781 59.2%	102,779 60.2%	453 62.4%	12,957 66.5%
その他	173 2.3%	6,510 3.2%	142 2.2%	5,469 3.2%	29 4.0%	852 4.4%

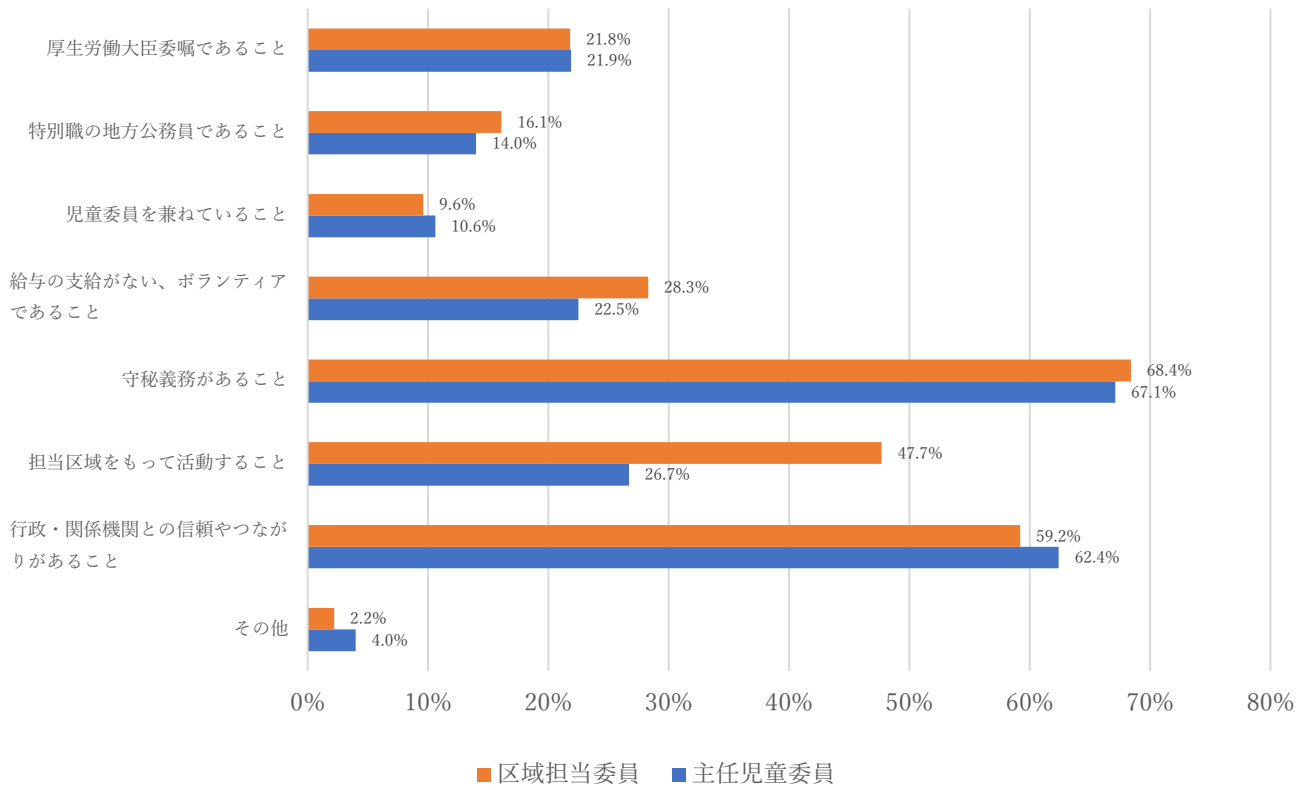
※全委員には、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む





### 責任感をもって活動していくうえで重要な点（北海道）

※地区担当委員と主任児童委員の比較



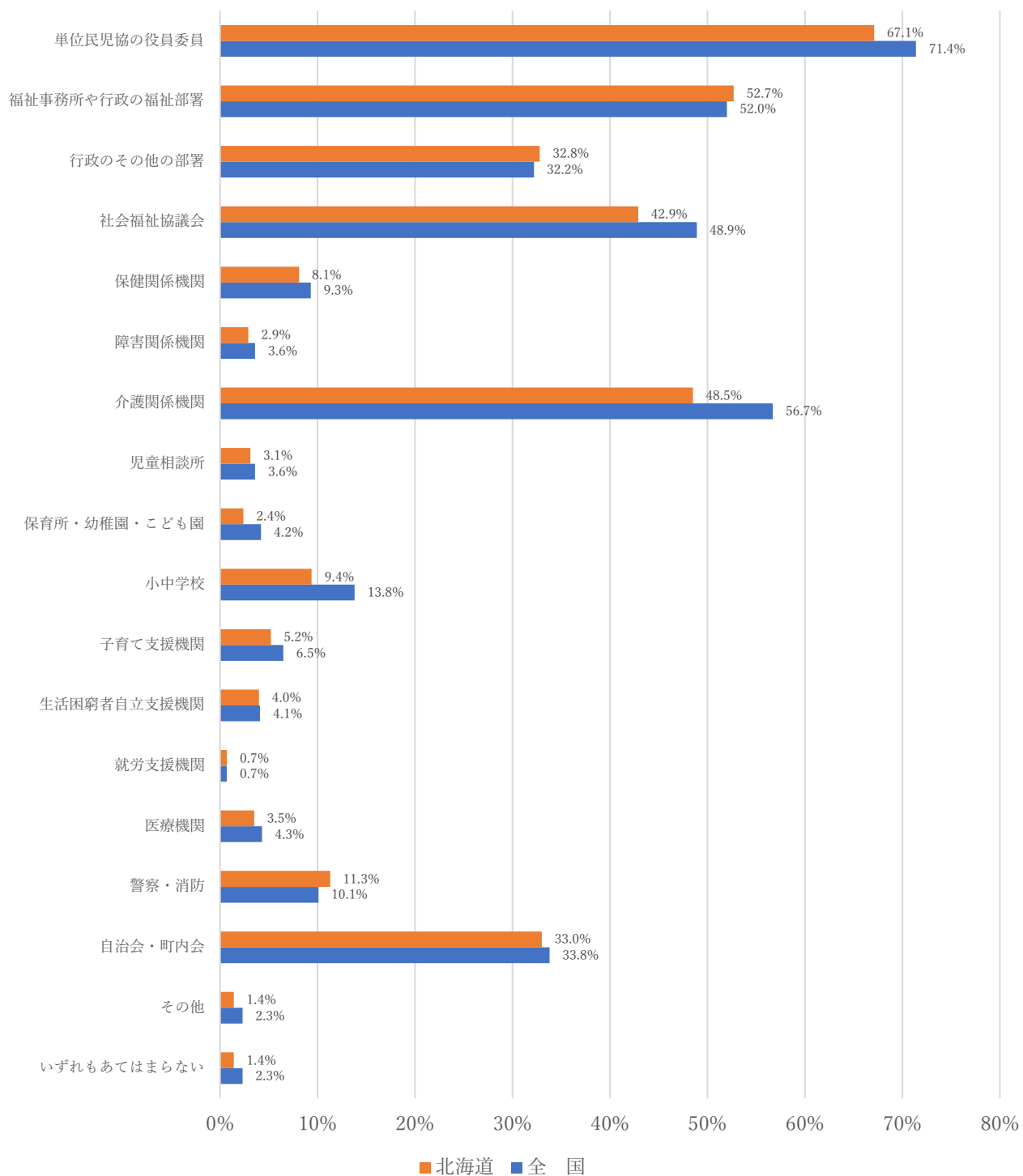
5 日常的に相談している相手

	日常的な相談相手					
	全委員		区域担当委員		主任児童委員	
	北海道	全 国	北海道	全 国	北海道	全 国
単位民児協の役員委員	5,054	143,356	4,315	122,296	548	15,620
	67.1%	71.4%	67.6%	71.7%	75.5%	80.2%
福祉事務所や行政の福祉部署	3,968	104,325	3,519	91,534	284	8,531
	52.7%	52.0%	55.1%	53.6%	39.1%	43.8%
行政のその他の部署	2,470	64,649	2,172	57,350	164	4,329
	32.8%	32.2%	34.0%	33.6%	22.6%	22.2%
社会福祉協議会	3,236	98,154	2,950	88,677	148	4,994
	42.9%	48.9%	46.2%	52.0%	20.4%	25.6%
保健関係機関	607	18,576	510	14,708	73	3,191
	8.1%	9.3%	8.0%	8.6%	10.1%	16.4%
障害関係機関	221	7,181	187	6,244	19	542
	2.9%	3.6%	2.9%	3.7%	2.6%	2.8%
介護関係機関	3,652	113,753	3,433	106,871	73	1,938
	48.5%	56.7%	53.8%	62.6%	10.1%	10.0%
児童相談所	234	7,146	153	4,096	76	2,819
	3.1%	3.6%	2.4%	2.4%	10.5%	14.5%
保育所・幼稚園・こども園	184	8,410	88	4,168	90	4,023
	2.4%	4.2%	1.4%	2.4%	12.4%	20.7%
小中学校	709	27,788	437	18,008	243	8,893
	9.4%	13.8%	6.8%	10.6%	33.5%	45.7%
子育て支援機関	394	12,998	219	7,620	163	4,973
	5.2%	6.5%	3.4%	4.5%	22.5%	25.5%
生活困窮者自立支援機関	300	8,278	276	7,577	6	214
	4.0%	4.1%	4.3%	4.4%	0.8%	1.1%
就労支援機関	49	1,493	41	1,321	3	91
	0.7%	0.7%	0.6%	0.8%	0.4%	0.5%
医療機関	261	8,673	228	7,864	17	336
	3.5%	4.3%	3.6%	4.6%	2.3%	1.7%
警察・消防	854	20,249	781	18,188	34	1,053
	11.3%	10.1%	12.2%	10.7%	4.7%	5.4%
自治会・町内会	2,487	67,864	2,301	62,220	83	2,715
	33.0%	33.8%	36.0%	36.5%	11.4%	13.9%
その他	106	4,685	85	3,894	20	610
	1.4%	2.3%	1.3%	2.3%	2.8%	3.1%
いずれもあてはまらない	105	4,622	84	3,843	20	600
	1.4%	2.3%	1.3%	2.3%	2.8%	3.1%

※全委員には、担当地区委員、主任児童委員の区分不明者を含む

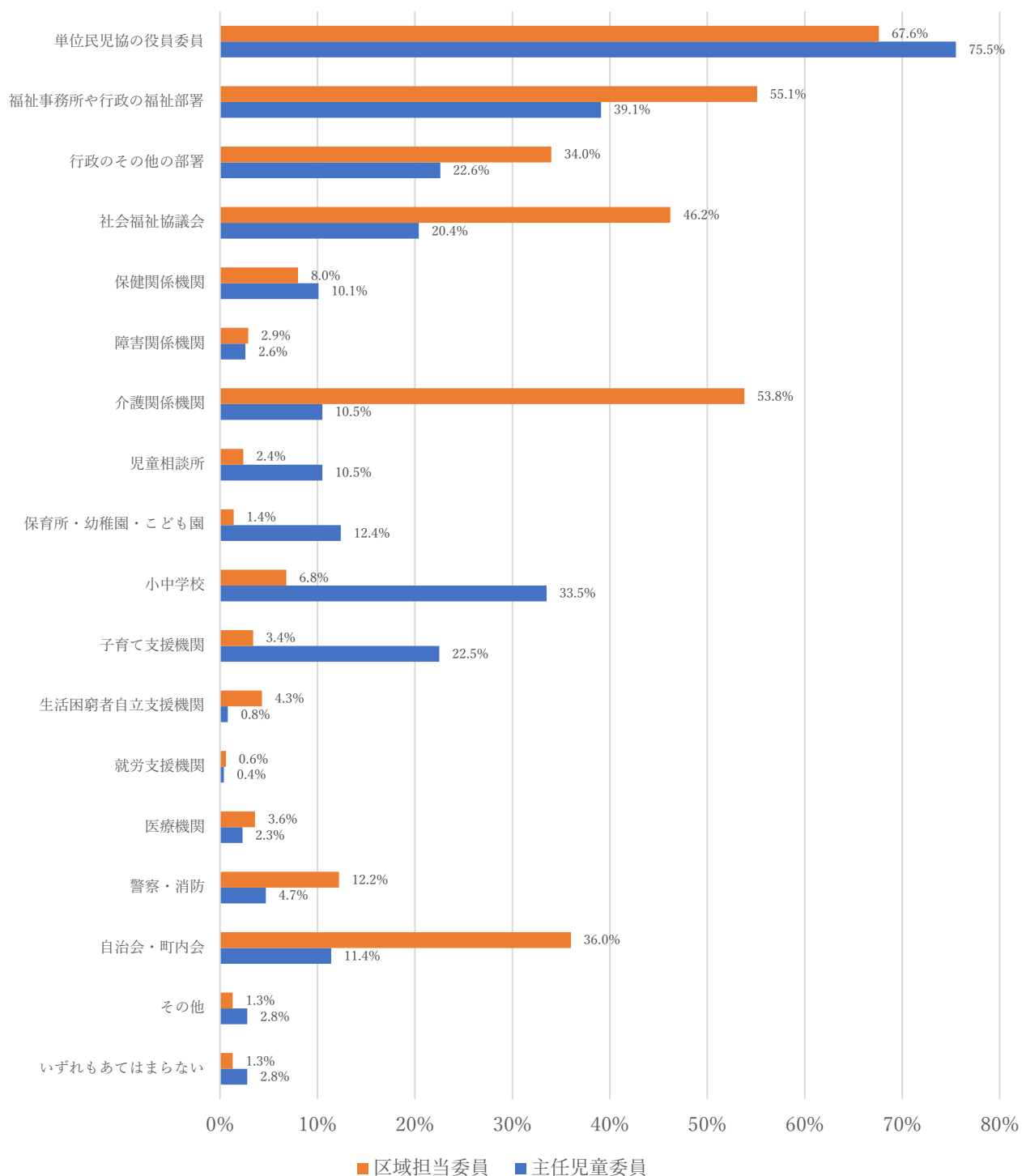
### 日常的に相談している相手（全委員）

※北海道と全国の比較



### 日常的に相談している相手（北海道）

※区域担当委員と主任児童委員の比較



出典：全国民生委員児童委員連合会発行「民生委員制度創設 100 周年記念全国モニター調査  
調査 2 「民生委員・児童委員の活動および意識に関する調査」 報告書